

デジタルマップ ナビシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

naviken®

NVX-D77

NVX-FV7



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- ナビゲーションでのルート案内時は、一方通行など実際の交通規制に従って運転する。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口で修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口で修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠警告 / ⚠注意	4
-----------------	---

ここだけ読んでも使えます

ルートガイド 道案内の概要	6
現在地を知る	8
ルートガイド 道案内をさせる (EZルート設定)	10

ここだけ読んでも
使えます

メニューの選びかた 14

ルートガイドを使いこなす

出発地や経由地を任意に設定して	
ルートを探す	15
ルートガイド中の便利な機能	18
ルートを探しなおす (ルート再探索)	20
設定した地点を修正する	20
設定した地点を保存する	21
保存した地点を呼び出す	22
ルートを一と通り見てみる	22
直線距離・方向だけの道案内をさせる	23
ルートガイドを終了または再開する	24
帰り道を案内させる (帰路探索)	24
行き先を変更する (シンプルガイド中のみ)	25

より早く目的地を探す

最寄りのコンビニエンスストアなどを	
表示する	26
地名などから場所を探す	27
マークをつけておく	28
自宅を地図に登録しておく	31
緯度経度から場所を探す	32

いろいろな情報を見る

地図ディスクに収録されている情報 (IIS) <small>アイアイエス</small>	33
走行軌跡を表示する	34
ドライブ情報 (施設や観光情報など) を	
表示する	35
GPS衛星の受信状態を見る	36
車の速度などの情報を見る	37

地図ディスクの種類などを見る	37
自律航法機能の動作を確認する	38

設定と調整

ルートガイドの設定	39
よく使う機能をクイックボタンに	
割り当てる	40
音声の設定	40
システムの設定	41
画面の位置を微調整する	41
自車位置を修正する	42

拡張機能

拡張ユニットを使う	43
テレビを見る	44
音楽CDを聞く	45

その他

誤差について	46
使用できる地図ディスクについて	48
メニューの種類について	49
ご注意 / お手入れ	50
メッセージが出たら	52
故障かな?と思ったら	54
保証書とアフターサービス	56
主な仕様	57
用語集	58
索引	59
モニター：各部の動き (NVX-FV7のみ付属)	61
各ボタンの使いかた	裏表紙



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

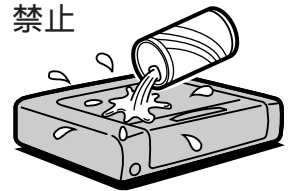


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

前方の視界を妨げる場所に、モニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



この取扱説明書はNVX-D77およびNVX-FV7共通です。

NVX-FV7にはモバイルカラーテレビXTL-610とVICS対応FM多重ユニットNVA-VF1が付属されています。

NVX-D77をお買い上げのお客様には、別売りのモバイルカラーテレビXTL-610/510をお勧めします。

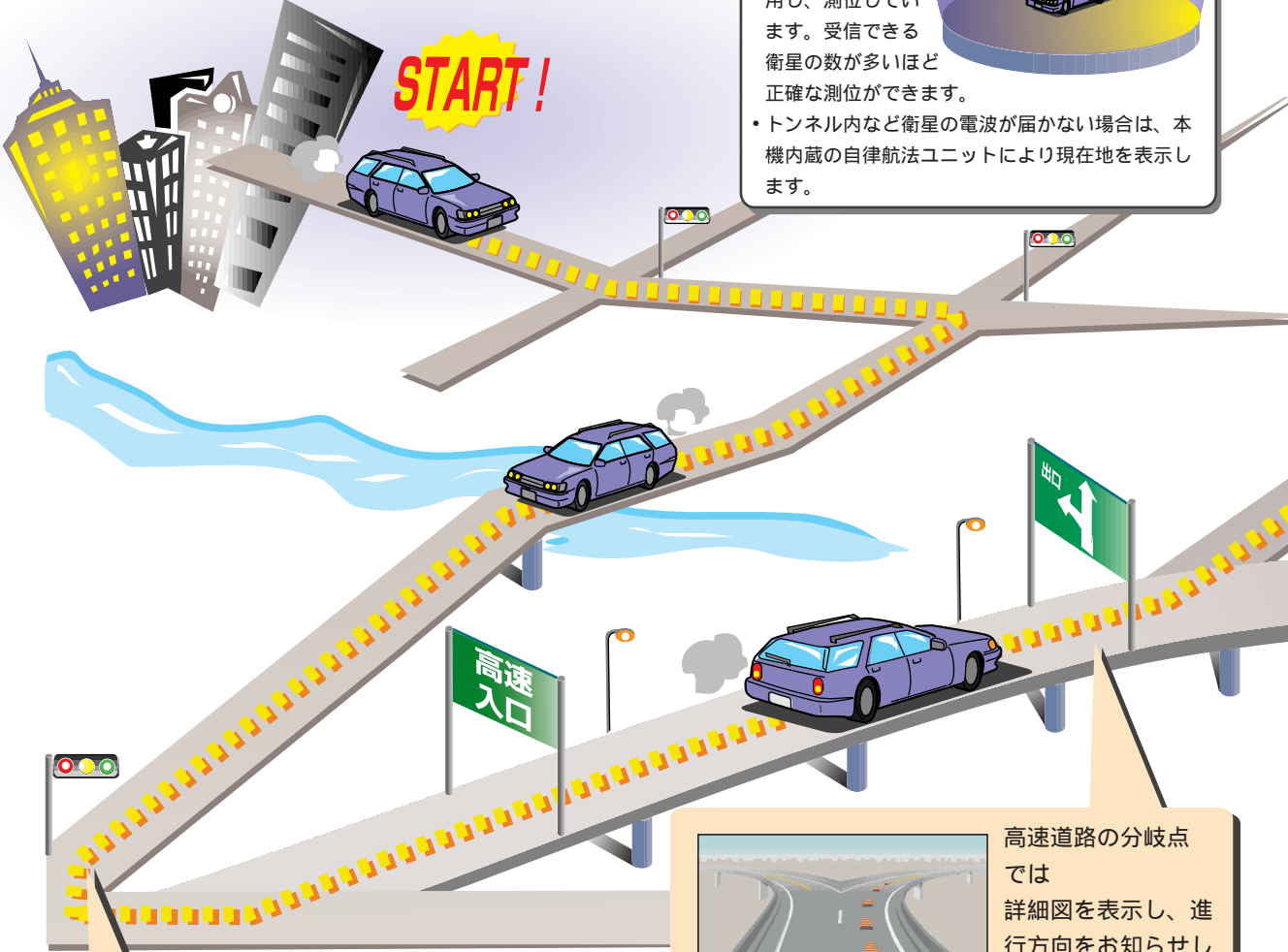
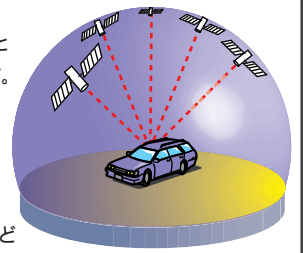
道案内の概要

あなたが決めた目的地に向かって、参考ルート(道順)を画面に表示します。あとはそのルートに沿って走るだけです。

現在地は

GPS衛星からの電波と自律航法で分かります。

- 通常はGPS衛星3個以上の電波を利用し、測位しています。受信できる衛星の数が多いほど正確な測位ができます。
- トンネル内など衛星の電波が届かない場合は、本機内蔵の自律航法ユニットにより現在地を表示します。



START!

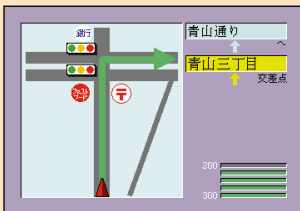
高速入口

出口



高速道路の分岐点では詳細図を表示し、進行方向をお知らせします。(ジャンクションガイド機能)

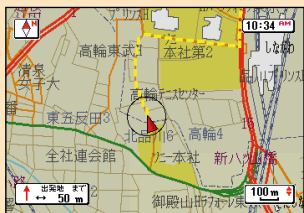
交差点では音声と矢印、交差点拡大表示で曲がる方向をお知らせします。地図上には、参考ルートが黄色の破線で表示されます。



到着

道を間違えても

現在地は一目瞭然。しかも、もとの参考ルートへ戻るルートを表示します。



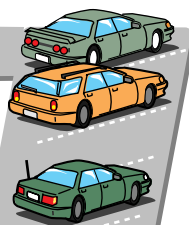
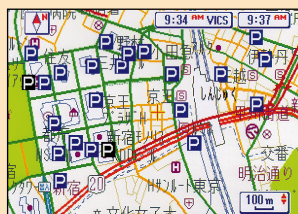
ドライブ中に給油や食事などが必要になったら最寄りのコンビニエンスストアやレストランを調べることができます。目的に応じてカー用品店、ファーストフードなど20項目があります。(最寄り表示機能：項目は地図ディスクにより異なります)



ここだけ読んでも
使えます

渋滞、工事中、駐車場の有無などはVICSユニット*があれば、リアルタイムの情報が入手できるので、別の道を選んだり、どこの駐車場が空いているか事前に知ることができます。

*NVX-D77は別売り、NVX-FV7は付属



ご注意

- 操作について詳しくは、「道案内をさせる」(10~13ページ)をご覧ください。
- 本機の機能をお使いになるには、各機能に対応した地図ディスクが必要です。詳しくは、「ルートガイド中の便利な機能」(18ページ)をご覧ください。

現在地を知る



「自車マーク」が現在地を示します

本機は現在地と進行方向を自車マークとして表示します。GPS衛星の受信状態および内蔵の自律センサーの動作状態によって、自車マークは以下の3種類のなかから表示されます。受信や誤差について詳しくは46ページをご覧ください。



正常に測位を行っている

3個以上の衛星の電波を受信し、自律センサーも働いています。



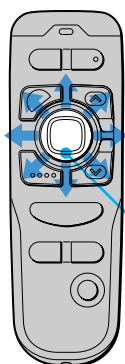
自律センサーだけで測位している

衛星の電波を受信できない状態で、自律航法を行っています。



測位できない

衛星の電波を受信できず、自律センサーも働かない状態です。



カーソルボタンを押すと、地図が動きます

車を走らせると、自車マークとともに地図の表示も自動的に変化(スクロール)します。また、リモコンのカーソルボタンを押すと、地図の表示範囲を任意に変えることができます。

カーソルボタンを上向きに押すと..



地図の表示範囲が変わり、前方に国道20号線があるのがわかる



カーソルボタンで地図を動かした後は、現在地ボタンで元の地図に戻してください。

操作のしかた

ちょっと一言

他社のモニターと接続する場合
(NVX-D77のみ)

付属のコネクションアダプターの電源
を入れてから、お手持ちのモニターの
電源を入れてください。

コネクションアダプターの接続につい
てくわしくは、別冊の「取り付けと接
続」をご覧ください。

ご注意

電源は、車のキーがACCまたはON
の位置で入ります。

ちょっと一言

ディスク情報画面の内容について
詳しくは「地図ディスクの種類など
を見る」(37ページ)をご覧ください。

また、ディスクが入っている状態で電
源を入れたときは、ディスク情報は表
示されません。

ご注意

・受信状態によっては、自車マークを
表示するまでに約20分ほどかかる
ことがあります。また、以下の場合
は自車の進行方向が検出できず、自
車マークの表示が下図のようになる
ことがあります。

- 本機を初めて使うとき
- リセットボタンを押したとき

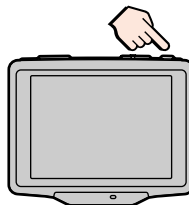


・マップマッチングが働いていない
と、「詳細地図」上で自車位置が動か
かず、現在地を示さないことがあり
ます。マップマッチングの動作確認は
「自律航法機能の動作確認する」
(38ページ)をご覧ください。

取り付けと接続はお済みですか?(別冊の「取り付けと接続」参照)

1 モニターの電源を入れる

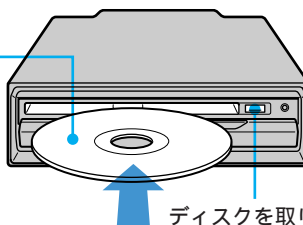
電源が入り、初期画面が表示されます。



2 地図ディスクを入れる

ディスクを軽く押すと自動的に引き込まれます。

ディスクの
レーベル面を
上にする

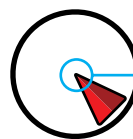
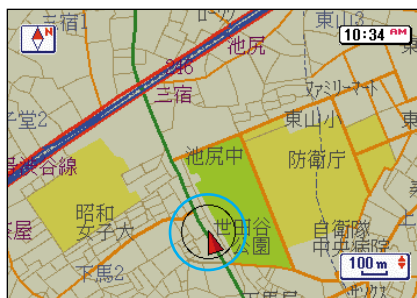
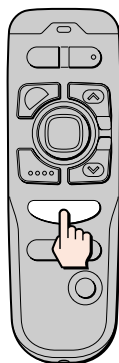


ディスクを取り出すときに押す

ディスク情報画面が表示されたあと、自動的に地図画面にな
ります。

3 現在地ボタンを押す

地図上に現在地を示す自車マークが表示されます。



現在地と
進行方向

電源を切るには

車のキーの位置をOFFにします。他社のモニターを使用した場合は、コネク
ションアダプターのPOWERボタンを押すが、車のキーの位置をOFFにしてく
ださい。

道案内をさせる (EZルート設定)



目的地への道順は黄色の破線で、 曲がる方向を音声と矢印で示します

あなたが決めた目的地への道順(ルート)を黄色の破線を表示し、このルートに沿って音声と矢印で道案内をします。また、交差点が近づくと画面全体に交差点を拡大表示し、曲がる方向をお知らせします。

交差点拡大表示は

自車の進行方向がいつも画面の上側になるように、交差点が表示されます。

方位表示

-  自動回転時
-  固定時

交差点位置

交差点名 / 走行道路名

交差点名 / 走行道路名は、ルートガイドを行わないときでも表示することができます。



300m先
交差点*、
右方向です

* ディスクに名前が収録されていない交差点名は案内されません。

「目的地」「経由地」までの距離を表示

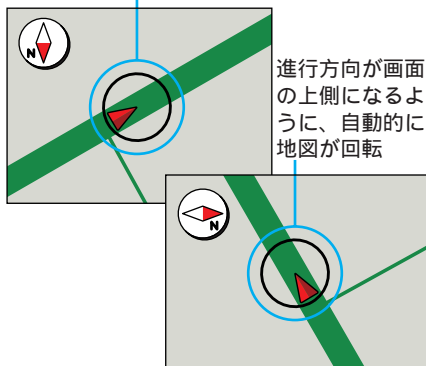
ルート(道順)は黄色の破線で表示



回転ボタンを押すと、地図の回転が固定されます

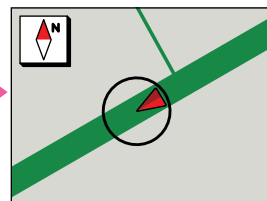
通常は、自車の進行方向がいつも画面の上側になるように、地図画面は90度単位で自動的に回転します。画面の動きを固定したいときは、回転ボタンを押します。地図を回転したとき、地名などの文字が重なることがあります。

斜め方向の道などを走って行くと...



進行方向が画面の上側になるように、自動的に地図が回転

回転ボタンを押すと、地図の上が北に固定されます



もう一度回転ボタンを押すと、自動回転に戻ります

ルートガイド

道案内の流れ

道案内が始まったら

ルートの表示は現在地から一番近い交差点から始まります。



ルートに乗ってからは

目的地に向かって、音声、矢印と交差点拡大表示で曲がる方向を案内するルートガイドが行われます。音声の案内について詳しくは「音声ガイド一覧」(19ページ)をご覧ください。



ルートから外れても

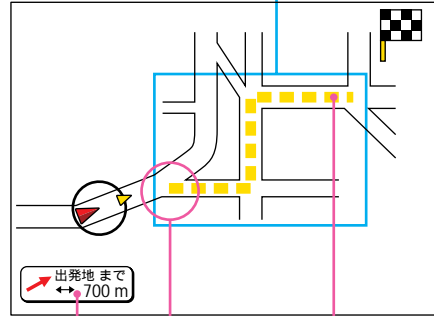
ルートガイド中に自車がルートから大きく外れると、その場所からルートに復帰するまでのルートを探して表示します。ただし、自車がルート探索対象外の道路を走行している場合は、ルート探索対象道路に出た時点から復帰ルートを探します。(リルート機能、18ページ)



目的地または目的地に一番近い交差点に到着すると

音声によりルートガイドの終了をお知らせします。

ルートに乗ってからは、音声による目的地までのルートガイド

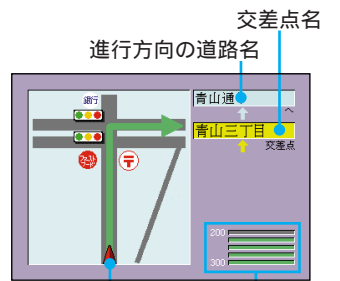


ルート表示(黄色の破線)

最初の交差点

一番近い交差点までの残りの距離

交差点拡大画面



自車マーク

交差点までの距離(メートル)*
自車マークが進み始めると数字に変わります。

* 交差点までの距離は、おおよその数値です。

高速道路の分岐点拡大画面



進行方向イメージ

トンネルに入っても

道案内途中にトンネルなどで衛星電波の受信がさえぎられても、自律航法ユニットの働きで測位が可能です。

高速道路では

ジャンクションガイド機能により、高速道路の分岐点の詳細図と進行方向を表示します。(ジャンクションガイド機能、18ページ)

ここだけ読んで
使えます

「道案内をさせる」つづき

操作のしかた

ちょっと一言

目的地が遠いときは
地図帳で探すときと同様に、おおよその場所を広域な地図で決め、そのあとに詳細な地図で目的地を探すと、目的地を早く設定することができます。地図の縮尺を変えるにはズームボタンを使います。

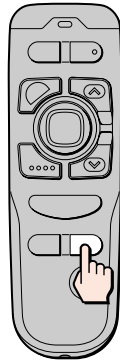


さらに詳細 / 広域画面があるとき縮尺表示部に▲(広域)、▼(詳細)マークが出ます。
「詳細地図」に対応した地域版などのナビ研S規格の地図ディスク(市販)をお使いになると、さらに詳細な尺度の地図をご覧になれます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。なお、本機に付属されている全国版地図ディスクに「詳細地図」のデータは収録されていません。
地図画面の縮尺表示部に▼マークが出ていたら、ひとつ下の縮尺に「詳細地図」があります。また、現在の地図が「詳細地図」の場合は、縮尺表示の色が変化します。
ご注意
「詳細地図」を表示中に車を走行させると、安全のため地図の縮尺が広域側に自動変更されます。

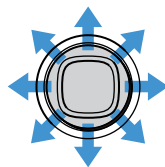
- ルートを表示するには自動経路探索対応のナビ研S規格の地図ディスクをお使いください。
- 目的地の設定は、地図を北上に固定すると行いやすいです。

1 目的地ボタンを押す

目的地を設定する画面になります。



2 カーソルボタンで地図を動かして、+マークを目的地に合わせる



目的地が自宅の場合は
すでに自宅が設定されている場合、目的地ボタンを2秒以上押すと、自宅を中心とした地図が表示されます。自宅の設定については、「自宅を地図に登録しておく」(31ページ)をご覧ください。

3 決定ボタンを押す

+マークが旗マークに変わり、目的地が設定されます。そのあと、周囲のデータを確認し、設定した地点が有料道路と一般道路のどちらにも近いときは確認のメッセージが出ます。



目的地



ちょっと一言

探索条件を変えるには
手順4で、出発地が有料道路上にあるときは「有料道路上」に、有料道路を優先するときは「有料道路」に、フェリーを使用するときは「優先する」に▶をあわせて決定ボタンを押します。探したルートを修正するには
現在地と目的地の間に「経由地」を追加することによって、探したルートを修正することができます。詳しくは20ページをご覧ください。
手順を省略するには
地図画面上で、+マークが目的地に合っているとき、目的地ボタンを2秒以上押しと、その場所が目的地として設定され、手順4の画面になります。

ご注意

- 「詳細地図」に次の情報は表示されません。
- 参考ルートの黄色い破線
 - VICSのレベル3情報 (VICSユニットNVA-VF1、NVA-VB1接続時)

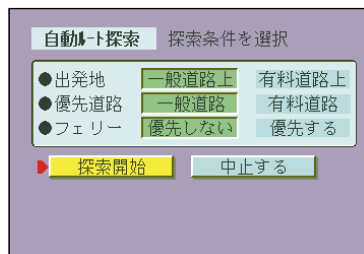
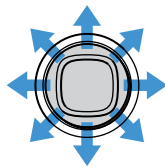
警告

本機の道案内を使用して運転をする場合でも、実際の交通法規(一方通行、進入禁止など)を必ず守ってください。

電源を切るには
車のキーの位置をOFFにします。他社のモニターを使用した場合は、コネクショアダプターのPOWERボタンを押すか、車のキーの位置をOFFにしてください。

4 カーソルボタンで「ルート探索開始」に▶をあわせる

必ず画面上の探索条件を確認してください。



5 決定ボタンを押す

ルートを探し始めます。探索が終わると地図画面に戻り、黄色い破線で参考ルートが表示されます。音声と表示で道案内の開始をお知らせします。



探索終了後、地図画面はルート全体を見ることのできる縮尺に一時的に変更され、元の縮尺に戻って道案内を開始します。

全体表示の間にカーソルボタンを押すと、その縮尺のまま道案内を開始します。



道案内が始まります

ご注意

次のようなときは、ルートガイドが正しく行われません。

- マップマッチングが働いていないとき
- 車速センサーなどが取り付けられていないときなど

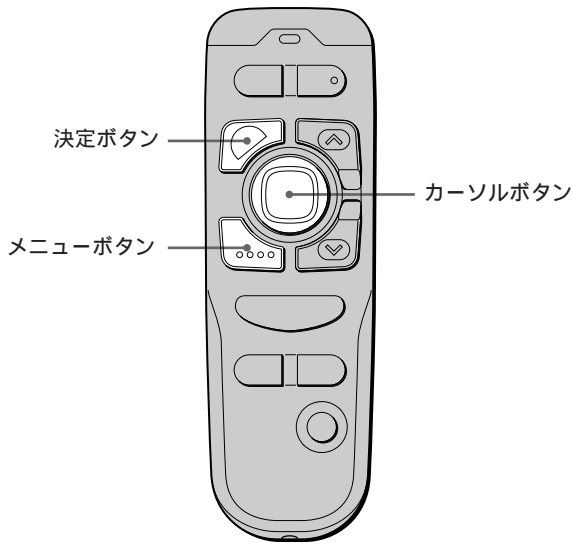
詳しくは、「自律航法機能の動作を確認する」(38ページ)をご覧ください。

道案内を終わらせるには

「ルートガイドを終了または再開する」(24ページ)をご覧ください。

メニューの選びかた

メニューの選びかたを一度覚えると、本機のほとんどの操作ができます。



ちょっと一言

現在地ボタンを押すと、メニュー画面から地図画面へ簡単に戻れます。

地図画面でメニューボタンを2秒以上押すと、前回選んだメニューが表示されます。

ルートガイドを使いこなす

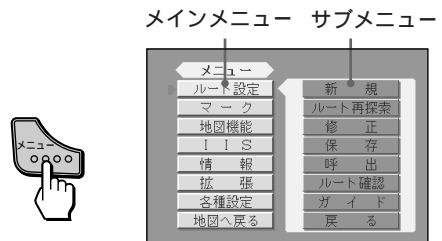
メニューを選ぶ

メニューの選びかたは、カーソルボタンで▶を合わせて、決定ボタンを押すだけです。

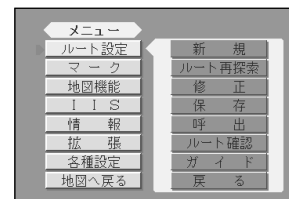
1 メニューボタンを押す

メニュー画面になります。

右側には▶のある項目で設定する項目（サブメニュー）が表示されています。

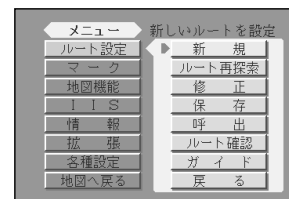


2 カーソルボタンを上下に押して、必要な項目に▶を合わせる



3 決定ボタンを押す（またはカーソルボタンを右に押す）

▶がサブメニュー（右）に移動します。



カーソルボタンを左に押すと、メインメニューに戻ります。

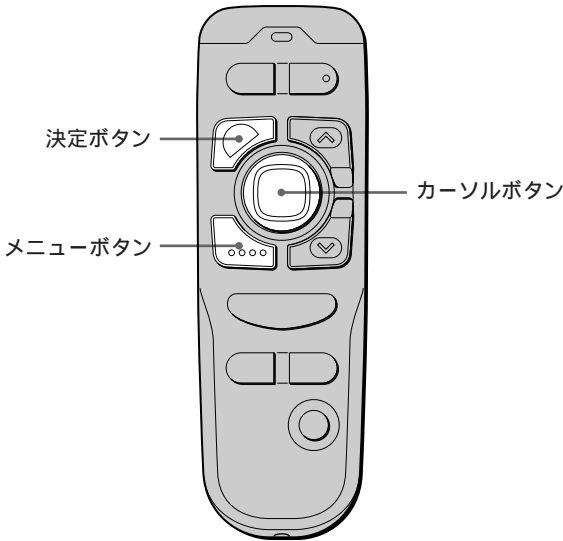
4 サブメニューの必要な項目に▶を合わせて、決定ボタンを押す

それぞれの機能画面になります。

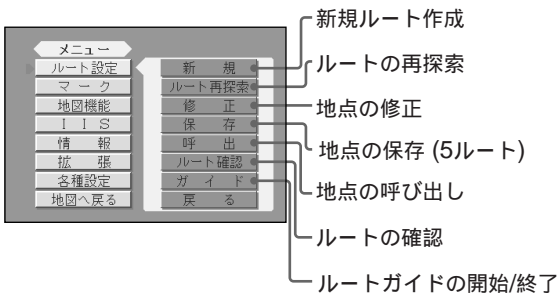
ルートガイドを 使いこなす

友人との待ち合わせ場所などを「出発地」にして、途中で立ち寄りたい場所を「経由地」に設定しておく、計画に沿ったルートでドライブを楽しむことができます。

「ルート設定」メニューでは、さらに設定したルートの修正、保存と呼び出し、ルートの確認ができます。



ルート設定に関する操作は、「ルート設定」メニューにまとめられています。走行中には操作できません。

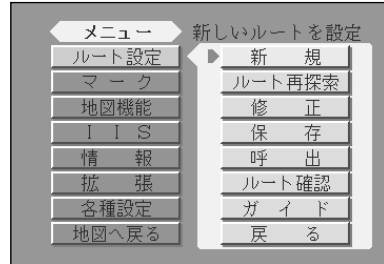


ルートガイドを使いこなす

出発地や経由地を任意に 設定してルートを探す

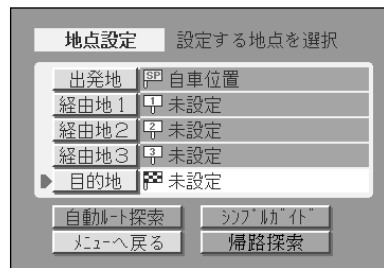
はじめに「出発地」、「経由地」、「目的地」を順に設定して、新規ルートを表示させてみましょう。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「ルート設定」を選び、決定ボタンを押す

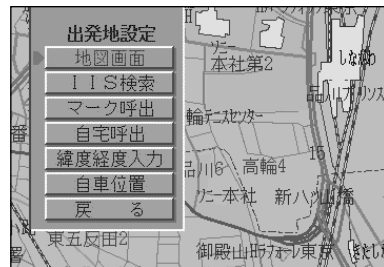


- 3 「新規」を選び、決定ボタンを押す
「地点設定」画面になります。

目的地設定が選択された状態で、出発地だけが「自車位置」になっています。



- 4 「出発地」を選び、決定ボタンを押す
出発地の設定方法を選ぶ画面になります。



- 5 「地図画面」を選び、決定ボタンを押す
他の設定方法については「より早く目的地を探す」(26ページ)をご覧ください。

次のページへつづく

ルートガイドを使いこなす

6 カーソルボタンで+マークを出発地に合わせる

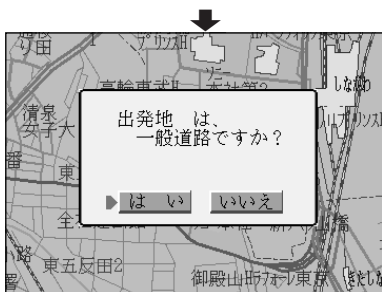


見たい場所をより早く探すには
最初に広域な地図でおおよその位置を探し、次に
ズームボタンでより詳細な地図を選びます。

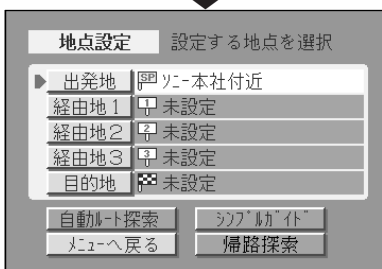
7 決定ボタンを押す

+マークが旗マークに変わり、出発地が設定されます。そのあと、周辺のデータを確認し、設定した地点が有料道路と一般道路のどちらにも近い場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。

「周辺のデータを確認しています」



「はい」または「いいえ」を選んで、決定ボタンを押します。



一般道は黒文字、有料道路は赤文字で表示されます。

8 「経由地1」を選び、決定ボタンを押す 経由地の設定方法を選ぶ画面になります。



9 手順5~7を行う

+マークが旗マークに変わり、経由地1が設定されます。そのあと、経由地1が新たに設定された「地点設定」画面に戻ります。

経由地は3地点まで設定できます。

「経由地2」、「経由地3」を設定する場合は、「経由地2」、「経由地3」を選んで決定ボタンを押し、手順5~7を繰り返します。

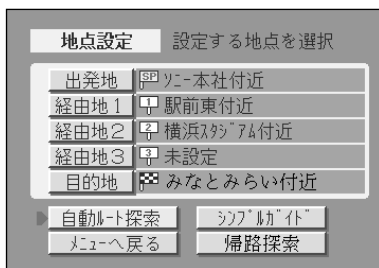
10 「目的地」を選び、決定ボタンを押す

手順8と同様の目的地の設定方法を選ぶ画面になります。

11 手順5~7を行う

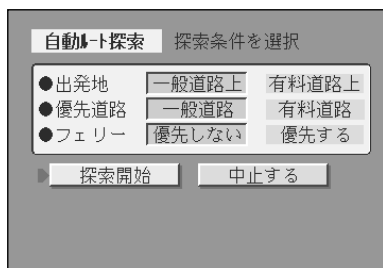
+マークが旗マークに変わり、目的地が設定されます。そのあと、目的地が新たに設定された「地点設定」画面に戻ります。

12 「自動ルート探索」を選ぶ



13 決定ボタンを押す

探索条件を設定する画面になります。



現在選択されている項目を変更する場合は、カーソルボタンで項目を選び、決定ボタンを押してください。

出発地：探索を開始する地点が有料道路上にある場合は、「有料道路上」に設定してください。

優先道路：有料道路を優先してルートを表示させる場合は、「有料道路」に設定してください。

フェリー：フェリーを使う場合は「優先する」、使わない場合は「優先しない」に設定してください。

14 「探索開始」を選び、決定ボタンを押す

自動ルート探索が始まり、ルート探索完了後、地図画面にルートが表示されます。

探索終了後、地図画面はルート全体をみることのできる縮尺に一時的に変更され、元の縮尺に戻って道案内を開始します。

全体表示の間にカーソルボタンを押すと、その縮尺のまま地図をご覧になれます。

ちょっと一言

- 出発地、経由地、目的地は、どの順序で設定することもできます。
- 複数の経由地を設定した場合は、経由地1、経由地2、経由地3の順にルート探索が行われます。

ご注意

次のような場合には自動ルート探索は実行できず、エラーメッセージが表示されます。

- 自動経路探索機能に対応したナビ研S規格の地図ディスクを使用していない。
- 目的地が設定されていない。
- 目的地が遠すぎて自動経路探索機能が働かない。
- 目的地がディスクの自動経路探索機能のデータ範囲外にある。

地図ディスクの経路探索データについて

地図ディスクの経路探索データは、基本的には道幅5.5m以下の細い道路に対するデータは含まれていません(道幅5.5m以上であっても住宅地や商店街を通りぬける道路に対するデータは含まれていません)。

また、一方通行や右/左折禁止の規制やフェリー航路のデータは入っていますが、次のようなデータは含まれていない場合があります。

例：

- 最新の規制
- 道路工事による通行止めや進入禁止
- 慢性的な渋滞の情報
- 就航数の少ないフェリー航路

詳しくは地図ディスク製作会社にお問い合わせください。

ルートについて

ルートは、経路データがある道路上においてのみ探索されます。出発地/経由地/目的地がこの道路上にない場合は、その周辺にある経路データがある道路上の交差点や分岐点がそれぞれ出発地/経由地/目的地として探索されます。

例えば、山岳部で近くに道路のない地域や、道路があっても商店街の中で細い道路しかないような地域に目的地を設定すると、目的地のすぐ近辺まではルートが表示されない場合があります。同じように出発地においても、現在地のすぐ近くから参考ルートが始まらない場合もあります。

また、ルートは基本的に同一路線(同じ番号を持つ国道や高速道路)を続けて走行できるように探索をするので、便利なバイパスや抜け道を表示しないことがあります。そのため、ルートが遠回りになる場合があります。

さらに、目的地を離島などに設定した場合、フェリー航路のデータが地図ディスクに含まれていないなどの理由により、ルートが見つからない場合があります。

ルートガイド中の便利な機能

ご注意

車速センサーコードなどの接続が正しく行われていないと交差点拡大表示や音声ガイド、リルートなどが正しく動きません。また、走行中の交差点名や道路名などは表示されません。

矢印ガイド

次に向かうガイドポイント上に進行方向が矢印で表示されます。



リルート機能

自車がルートから大きく外れたときに、ルートに戻る道を探索して表示できます。

ご注意

- 自車が自動ルート探索の対象でない道路を走行している場合はリルートされません。このときは、自動ルート探索の対象になる道路(国道など)に出れば、元のルートに戻る道路を探索します。
- 「ルートへ戻る距離が遠いためリルートできません」と表示されたときは、車を安全な場所に停車させて「ルートを探しなおす」(20ページ)を操作してください。目的地までの新しいルートを探索できます。
- リルート機能は、ルートをはずれた位置から一定の距離の範囲内で参考ルートに戻るルートを計算する機能です。この範囲内に経由地があるとき、リルート後の参考ルートに経由地が含まれないことがあります。このような場合は、車を安全な場所に停車させて「ルートを探しなおす」(20ページ)操作をしてください。

渋滞回避ルート機能

VICSユニットNVA-VF1とNVA-VB1を接続していると、VICSセンターから提供される最新の道路交通情報を受信できます。本機は、この道路交通情報に対応して、渋滞や道路規制などを回避するリルートを行います。

詳しくは、各VICSユニットの取扱説明書をご覧ください。

交差点拡大機能

ガイドポイントが近づいたときに交差点の拡大図が表示されます。

交差点拡大図では、交差点への進入方向が上になるように、交差点の詳細図と進行方向が表示されます。(11ページをご覧ください。)

目印になる建物などのマークや交差点名が記録された地図ディスクを使うと、それらが交差点拡大図にも表示されます。

ジャンクションガイド機能

ジャンクションガイドに対応した地図ディスクを使うと、高速道路の分岐点が近づいたときに分岐点の詳細図と進行方向が表示されます。(11ページをご覧ください。)

ジャンクションガイドされる高速道路は、地図ディスクによって異なります。本機に付属の地図ディスクでは、都市高速のみが対象です。

到着予想時刻の表示

ルートガイド中に目的地ボタンを押すと、目的地への到着予想時刻を現在時刻から計算して地図画面上に表示します。到着予想時刻はあらかじめ設定しておいた高速道路や一般道路での平均速度と目的地までの距離で計算したものです。この平均速度の設定は「ルートガイドの設定」(39ページ)で行います。

ご注意

- 到着予想時刻は、おおよその時刻です。
- フェリーを用いた場合、その所要時間は計算されません。
- 設定した平均速度と大きく異なる速度で走行した場合は、正しい時刻が表示されません。

ルートガイド中のボタン操作

ルートガイド中に次の操作ボタンを押すと、さまざまな情報を確認することができます。

ボタン名	画面表示	音声ガイド
決定ボタン	緯度経度表示	現在地の地名
カーソルボタン で+マークを移動後、決定ボタン	+マーク位置の緯度経度表示	+位置の地名
現在地ボタン	次のガイドポイントまでの走行距離 交差点拡大図	次のガイドポイントまでの走行距離
現在地ボタン (2秒以上押す)		現在時刻
目的地ボタン	到着予想時刻	目的地までの走行距離

地図ディスクについてのご注意

- 本機はナビ研S規格専用機です。
- 付属の地図ディスクをお使いになると、ルートガイドや交差点拡大機能などを利用することができますが、地図ディスクの種類によっては、「自動ルート探索機能」「ルートガイド機能」や「交差点拡大表示」「交差点名案内」などの機能がご利用になれない場合があります。
- 自動経路探索対応の地域別地図ディスクをお使いになると、経路データが収録されている地図エリアの端付近で自動ルート探索を行うと、目的地までのルートが見つからない場合があります。このような地域で自動ルート探索を行う場合は、自動経路探索対応の全国版地図ディスクをお使いください。
- マップマッチングは、マップマッチング用の道路データが収録された地図ディスクをお使いになっている場合のみ働きます。
- お使いになっている地図ディスクが対応している機能を知りたいときは、「地図ディスクの種類などを見る」(37ページ)をご覧ください。

地図ディスクについて詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

音声ガイド一覧

次に向かうガイドポイント(経由地、交差点など)までの道のりなどをアラーム音(🔔)と音声で知らせます。

ルートガイド開始時/終了時

例) 🔔+「ルートガイドを開始します」

ガイドポイントまでの距離と種類

ガイドポイントに近づくと、ガイドポイントまでの距離と種類を知らせます。

例) 🔔+「2キロメートル先、経由地1付近です」

ガイドポイントでの進行方向

ガイドポイントでの進行方向(「直進です」「右方向です」「ななめ右方向です」「大きく右方向です」「左方向です」「ななめ左方向です」「大きく左方向です」)を案内します。

例) 🔔+「2キロメートル先、右方向です」

ガイドポイントの交差点名称

交差点名称のデータが収録されている地図ディスクをお使いになると、名称データのある交差点では音声で交差点名を案内します。

例) 🔔+「2キロメートル先、八丁堀交差点、右方向です」

高速道路の入口/出口

例) 🔔+「2キロメートル先、高速入口です」

フェリーターミナル

例) 🔔+「2キロメートル先、フェリーターミナルです」

ガイドポイント通過と、次のガイドポイントまでの距離のお知らせ

ルートに沿ってガイドポイントを通過すると、通過時の確認をアラーム音で知らせます。また、ガイドポイント通過後に、現在地ボタンを押すと次のガイドポイントまでの距離を画面表示と音声で知らせます。

例) 🔔+「3キロメートル先、右方向です」

経由地/目的地など設定地点への到着

例) 🔔+「目的地付近に到着しました」

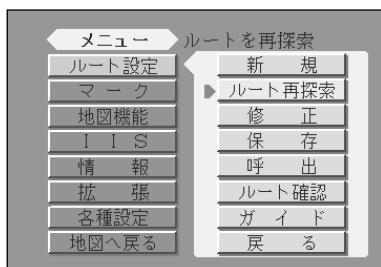
ご注意

地図の縮尺によっては、現在地の地名を音声ガイドできない場合があります。付属の地図ディスクの場合は「詳細地図」を除く50mおよび100mのスケールでご使用ください。

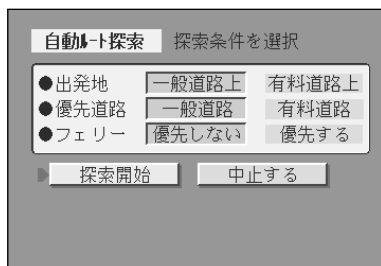
ルートを探しなおす (ルート再探索)

ドライブの途中でルートガイドを中止しても、経由地や目的地の設定を変更せず、設定した出発地や自車位置から改めてルートを探します。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「ルート設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「ルート再探索」を選ぶ



- 4 決定ボタンを押す
- 探索条件を設定する画面になり、▶が「探索開始」位置にあります。
- 探索条件を確認してください。



- 5 決定ボタンを押す
- 自動ルート探索が始まります。

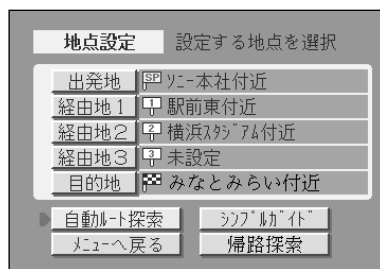
ご注意

- ルートの再探索は、出発地が「自車位置」に設定してあるときに、自車位置から目的地までの新しいルートを探します。出発地が「自車位置」以外に設定してあると、これまでのルートと同じルートしか表示されません。出発地が「自車位置」以外に設定してあるときは、右の「設定した地点を修正する」で出発地を「自車位置」に修正し、もう1度「自動ルート探索」を行ってください。
- 「ルート再探索」は、設定されている地点、探索条件にもとづいて再計算を行います。ルートガイドの途中でルート再探索を行った場合、すでに通過してしまった経由地なども探索計算に含まれますのでご注意ください。このような場合は、右の「設定した地点を修正する」で通過してしまった地点を消去して、もう1度「自動ルート探索」を行ってください。

設定した地点を修正する

ルートを修正するには、ルートの基準になっている経由地などの各地点の設定内容を変更します。改めて自動ルート探索を行うと、ルートが変更されます。

- 1 メニューボタンを押す
 - 2 「ルート設定」を選び、決定ボタンを押す
 - 3 「修正」を選び、決定ボタンを押す
- 修正地点を選択する画面になります。



- 4 修正したい地点を選択し、決定ボタンを押す
- 例えば「経由地1」を選択した場合、次のような画面になります。

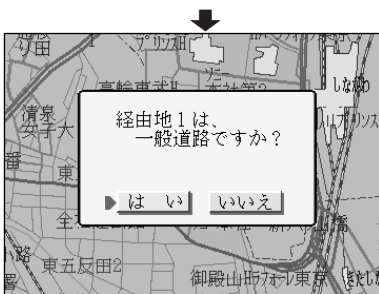


- 5 「地図画面」を選び、決定ボタンを押す
- 地点を消去したい場合は、「経由地1消去」を選びます。
- 他の選択方法については「より早く目的地を探す」(26ページ)をご覧ください。

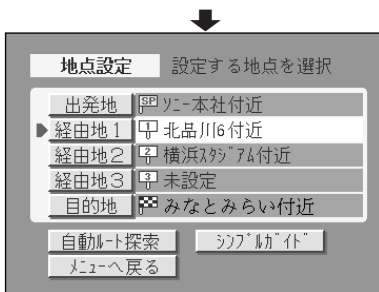
設定した地点を保存する

- 6** カーソルボタンで+マークを設定したい地点に合わせて、決定ボタンを押す
+マークが旗マークに変わり、地点が設定されます。そのあと、周辺のデータを確認し、設定した地点が有料道路と一般道路のどちらにも近い場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。

「周辺のデータを確認しています」



「はい」または「いいえ」を選び、決定ボタンを押します。



一般道は黒文字、有料道路は赤文字で表示されます。

- 7** 「自動ルート探索」を選び、決定ボタンを押す

探索条件を設定する画面になります。

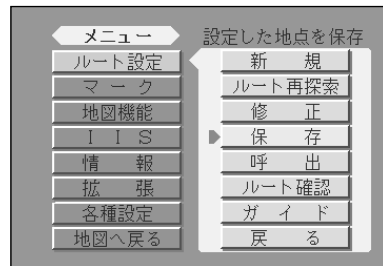
「探索開始」を選んで決定ボタンを押すと、修正した地点のデータを使って、自動ルート探索が始まります。

ちょっと一言

1つの経由地を消去しても、他の経由地を設定し直す必要はありません。自動ルート探索は、消去した経由地を除いて消去前と同じ順序で行われます。

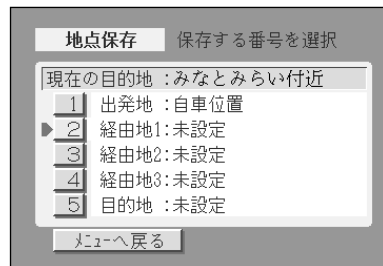
出発地、経由地、目的地の地点をまとめて保存できます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「ルート設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「保存」を選ぶ



- 4 決定ボタンを押す

保存番号を選択する画面になります。



- 5 保存番号 (1 ~ 5) を選び、決定ボタンを押す

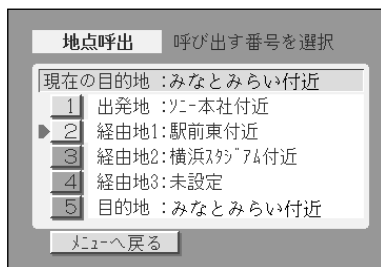
ご注意

すでに地点が保存されている番号を選んで決定ボタンを押すと、新しく設定した地点に変更されます。参考ルートの表示(黄色の破線)は保存されません。

保存した地点を呼び出す

ルートを再び表示させるには、出発地、経由地、目的地のデータをまとめて呼び出し、改めて自動ルート探索を行います。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「ルート設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「呼出」を選び、決定ボタンを押す



- 4 呼出番号 (1 ~ 5) を選び、決定ボタンを押す

地点設定の画面になります。

- 5 「自動ルート探索」を選び、決定ボタンを押す

探索条件を設定する画面になります。

(呼び出されたルートには以前の探索条件は保存されていません。探索条件を確認してから探索を開始してください。)

「探索開始」を選んで決定ボタンを押すと、呼び出された地点のデータを使って、自動ルート探索が始まります。

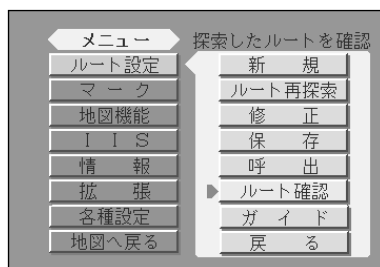
ご注意

データ保存に使用した地図ディスクと異なるディスクを使ってルート探索を行うと、同じディスクで探索した場合より時間がかかることがあります。この場合、一度探索を行うと同じ所要時間になります。

ルートをひと通り見てみる

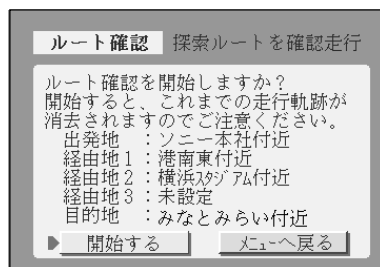
自動ルート探索で地図画面にルートを表示させたあと、ルートに沿って自転車マークを進めて画面上でルートを確認することができます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「ルート設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「ルート確認」を選ぶ



- 4 決定ボタンを押す

ルート確認の画面になります。



中止するときは、「メニューへ戻る」を選んで決定ボタンを押してください。

- 5 「開始する」を選び、決定ボタンを押す

ルート確認を始めます。

ルート確認を終了するには再度メニューボタンを押し、「ルート設定」画面から「ルート確認」画面を選び、「終了する」を選んで、決定ボタンを押します。

直線距離・方向だけの道案内をさせる

ルート探索を行わずに、ルート設定した各地点までの直線距離と方向を順番に表示して道案内をさせることができます。(シンプルガイド)

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「ルート設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「新規」または「修正」を選び、決定ボタンを押す
「新規」を選んだ場合は、目的地や経由地を設定してください。

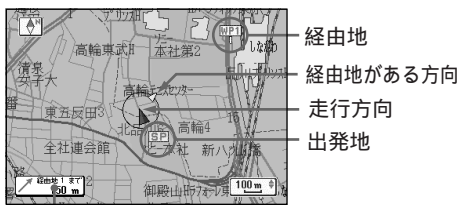
4 「シンプルガイド」を選ぶ

地点設定		設定する地点を選択
出発地	<input type="text" value=""/>	〇〇 〇〇-本社付近
経由地1	<input type="text" value=""/>	〇〇 〇〇 駅前東付近
経由地2	<input type="text" value=""/>	〇〇 〇〇 横浜スタジアム付近
経由地3	<input type="text" value=""/>	〇〇 〇〇 未設定
目的地	<input type="text" value=""/>	〇〇 〇〇 みなとみらい付近
自動ルート探索		シンプルガイド
メニューへ戻る		帰路探索

5 決定ボタンを押す

地図画面になり、シンプルガイドを始めます。

車の進行方向に合わせて、地図は自動的に回転します。



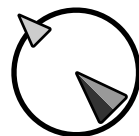
経由地までの直線距離

↔は直線距離であることを表します。

通常のルートガイド中は道のりを表示します。

経由地1に着くと、次に設定された経由地2までのシンプルガイドを始め、順に目的地までの道案内をします。

シンプルガイド中は、自車マークが右のようになります。



行き先を変更するには25ページをご覧ください。

シンプルガイドを中止するには「ルートガイドを終了または再開する」(24ページ)をご覧ください。

シンプルガイド中の便利な機能

自車位置で決定ボタンを押すと現在地の地名を知らせます。

「 付近です」

目的地ボタンを押すと

目的地までの直線距離を知らせます。

「目的地付近まで、直線距離 キロメートルです」

設定地点に向かうと

「経由地1付近まで、直線距離 キロです」

設定地点が近づくと

◀+「1キロメートル先、経由地1付近です」(高速走行時)

◀+「300メートル先、経由地1付近です」(低速走行時)

目的地に着くと

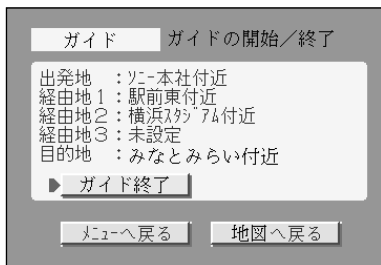
「シンプルガイドを終了します」

ご注意

シンプルガイド中は、交差点拡大機能や矢印ガイドなどの機能は働きません。

ルートガイドを終了 または再開する

- 1 ルートガイド中に、メニューボタンを押す
- 2 「ルート設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「ガイド」を選び、決定ボタンを押す



- 4 「ガイド終了」を選び、決定ボタンを押す
ルートガイドが終了します。

ルートガイドを再開するときは、「ガイド開始」を選んで決定ボタンを押してください。

ちょっと一言

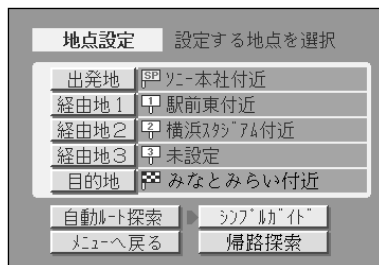
クイックボタンに「ガイドON/OFF」を登録すると、メニュー画面を開かずにクイックボタンを押すだけで、ルートガイドの開始/終了の操作ができます。

クイックボタンの登録については、「よく使う機能をクイックボタンに割り当てる」(40ページ)をご覧ください。

帰り道を案内させる (帰路探索)

目的地から出発地に帰るとき、往路で設定した地点のデータを逆にして帰り道のルート探索を行うことができます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「ルート設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「修正」を選び、決定ボタンを押す



- 4 「帰路探索」を選び、決定ボタンを押す
出発地と目的地、経由地1と経由地3のデータが入れ替わります。

- 5 「自動ルート探索」を選び、決定ボタンを押す

探索条件を設定する画面になります。

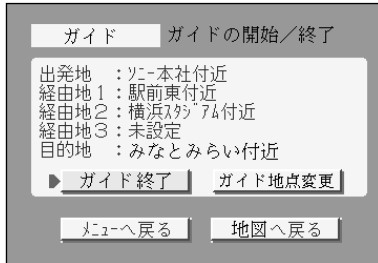
「探索開始」を選んで決定ボタンを押すと、呼び出された地点のデータを使って、自動ルート探索が始まります。

ご注意

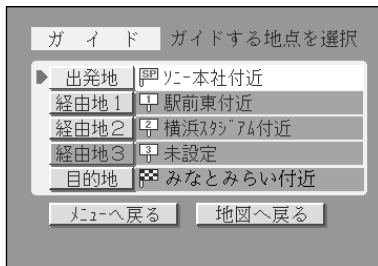
自転車位置を「出発地」としたときは、前回ルート探索を開始したときの自転車位置が「目的地」になります。

行き先を変更する (シンプルガイド中のみ)

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「ルート設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「ガイド」を選び、決定ボタンを押す



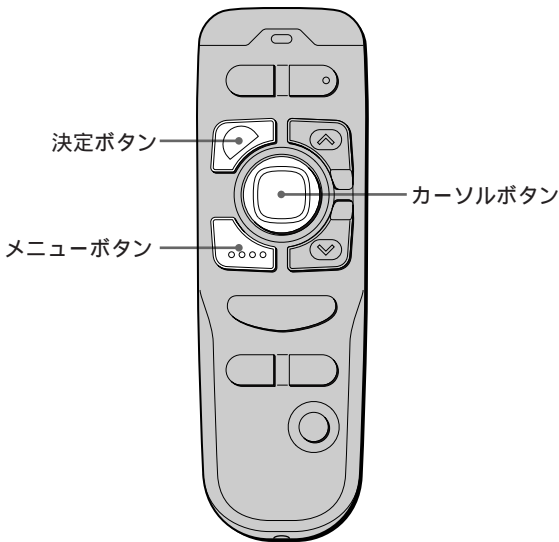
- 4 「ガイド地点変更」を選び、決定ボタンを押す



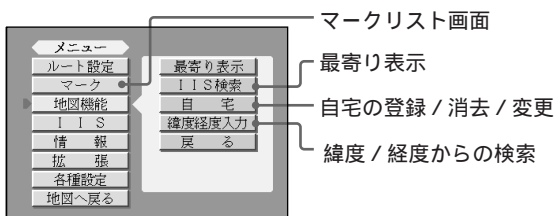
- 5 ガイドする地点を選び、決定ボタンを押す

より早く目的地を探す

自宅の場所を地図に登録しておいたり、よく行く場所に目印のマークをつけておいたりすれば、その場所の地図を早く呼び出すことができます。また、地図ディスクによっては、地名などを入力して、その場所の地図を表示することもできます。



目的地検索に関する操作は、メインメニューの「マーク」およびサブメニューの「地図機能」メニューにまとめられています。



より早く目的地を探す

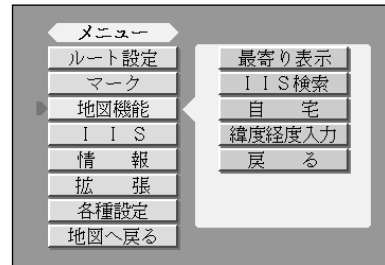
最寄りのコンビニエンスストアなどを表示する

ドライブ中に最寄りのコンビニエンスストアやレストランなどを探するとき、探したい項目を指定してリストアップし、地図上に表示することができます。

リスト表示されるのは、場所によって異なりますが、自車位置または地図画面上のカーソル位置から最低半径2 km以内にある指定項目です。最寄りの目的地が見つからないときは、場所を変えてもう一度操作してください。

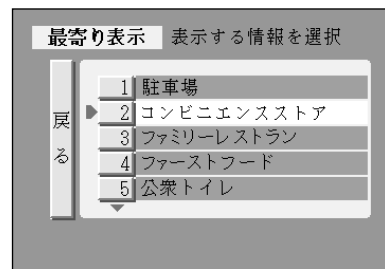
1 メニューボタンを押す

2 「地図機能」を選び、決定ボタンを押す



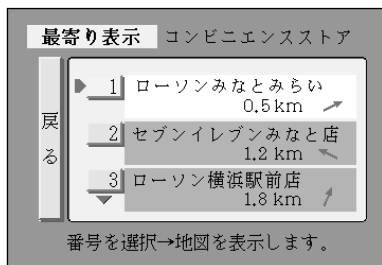
3 「最寄り表示」を選び、決定ボタンを押す

表示項目を選ぶ画面になります。



地名などから場所を探す

- 4 表示項目を選び、決定ボタンを押す**
 選択した項目のリスト(名称/方向/距離)が、近い順に表示されます。

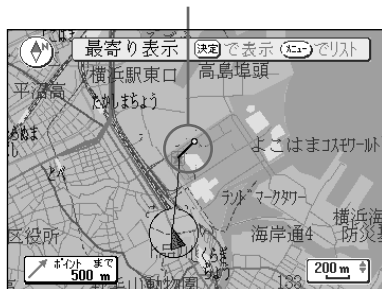


カーソル位置からリストを表示したときは、方向(矢印)は表示されません。

IIS 情報の項目を選択すると、名称は「IIS 情報」になります。IIS 情報を選ぶと、画面に IIS 情報が表示されます。地図画面に戻るには、決定ボタンを押します。

- 5 地図を表示するには、番号を選んで決定ボタンを押す**

最寄りポイントの表示



ご注意

選択できる項目は、お使いになる地図ディスクによって異なります。

「地図機能」画面から「IIS検索」を選択すると、地図ディスクのIIS (Integrated Information Services : ナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいた情報提供プログラム) の検索メニュー画面を直接表示させることができます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「地図機能」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「IIS検索」を選び、決定ボタンを押す
 IIS機能の検索メニュー画面になります。

お使いになっている地図ディスクの取扱説明書をご覧のうえ、操作してください。

IISを終了するには

現在地ボタンを押します。


ご注意

ディスクによってはIISが検索機能に対応していないものがあります。その場合は、IISのオープニング画面が表示されます。

マークをつけておく

ドライブ中に見つけたレストラン、景色のよかった場所、友人の家など覚えておきたい場所を、地図にマークをつけて登録できます。(250か所までマークをつけることができます。)

マークをつけた場所は、地図ディスクを入れ換えた場合でもそのまま表示されます。

地図に付けたマークのある位置に+マークを合わせると、「マーク」に変わり、マークの名称が表示されます。マークの名前を変更した場合は、変更した名前が表示されます。



マークをつけた場所付近の地名や建物の名前、または緯度/経度

1 マークをつける場所を探し、+マークを合わせる

2 マークボタンを押す


+マークの中心にマークがつかます。



マークをつけた地点はマークリストに自動的に登録されます。

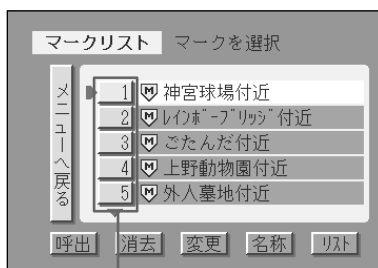
ドライブ中に気に入った場所や店があったらマークボタンを押すと、自転車マークの位置にマークをつけることができます。

マークを消す

地図画面から「マークリスト」画面にするには消去したいマークのある位置に+マークを合わせ、マークに変わったことを確認して決定ボタンを押します。(手順4から操作できます。)

1 メニューボタンを押す

2 「マーク」を選び、決定ボタンを押す
「マークリスト」画面になります。



マーク番号

3 消去したいマーク番号を選び、決定ボタンを押す


誤ったマーク番号を選んだときは「リスト」を選んで決定ボタンを押し、リスト画面に戻る。

4 「消去」を選び、決定ボタンを押す
マークがリストから消去されます。

5 「メニューへ戻る」を選び、決定ボタンを押す

マークの種類を変更する

登録した場所のマークを目的別にいろいろなシンボルにして、オリジナルの地図を作ることができます。

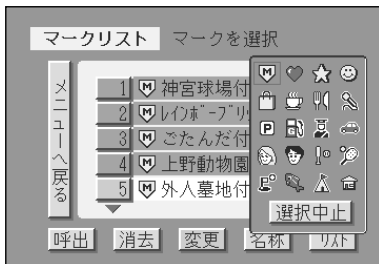
地図画面から「マークリスト」画面にするには変更したいマークのある位置に+マークを合わせ、マークに変わったことを確認して決定ボタンを押します。(手順4から操作できます。)


- 1 メニューボタンを押す
- 2 「マーク」を選び、決定ボタンを押す



マーク番号

- 3 変更したいマーク番号を選び、決定ボタンを押す
誤ったマーク番号を選んだときは「リスト」を選んで決定ボタンを押し、リスト画面に戻る
- 4 「変更」を選び、決定ボタンを押す
シンボルリストが表示されます。

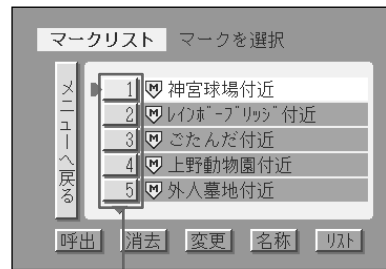


- 5 変更するシンボルに  を合わせて、決定ボタンを押す
マークが新しいシンボルに変わります。
- 6 「メニューへ戻る」を選んで、決定ボタンを押す

マークをつけた位置を呼び出す

登録してあるマークから、そのマークをつけた場所の地図を見ることができます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「マーク」を選び、決定ボタンを押す



マーク番号

- 3 表示したいマーク番号を選び、決定ボタンを押す
誤ったマーク番号を選んだときは「リスト」を選んで決定ボタンを押し、リスト画面に戻る
- 4 「呼出」を選び、決定ボタンを押す
選んだマーク位置の地図が表示されます。

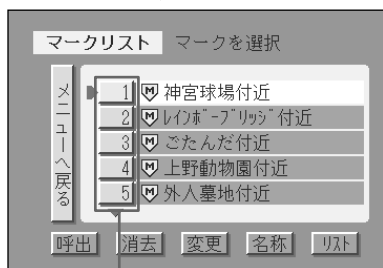
ルート設定時は設定方法を選択する画面で「マーク呼出」を選び、同様に操作します。

より早く目的地を探す

マークの名前を変更する

マークリストや地図に表示される名前を変更することができます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「マーク」を選び、決定ボタンを押す



マーク番号

- 3 名前を変更したいマーク番号を選び、決定ボタンを押す

誤ったマーク番号を選んだときは「リスト」を選んで決定ボタンを押し、リスト画面に戻る

- 4 「名称」を選び、決定ボタンを押す
カナ入力画面が表示されます。



- 5 カーソルボタンで新しく名前につける文字を1文字ずつ選択し、決定ボタンを押す

20文字まで入力することができます。

英数字や記号を入力するときは「英数」を選択し、決定ボタンを押します。カナ入力画面に戻るには、「カナ」を選択して決定ボタンを押します。

間違った文字を入力したときは「削除」を選択し、決定ボタンを押します。決定ボタンを押すたびに、直前に入力した文字から1文字ずつ削除されます。

入力したすべての文字を削除するには「全削」を選択し、決定ボタンを押します。

- 6 「変更する」を選んで、決定ボタンを押す
マークに新しい名前がつき、マークリスト画面に戻ります。

変更を中止するには、「中止する」を選んで決定ボタンを押します。

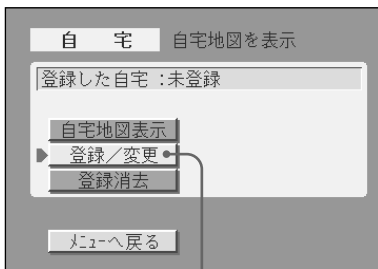
ご注意

マークの種類や名前を変更したときは、必ず地図画面に戻ってから電源を切ってください。マークリスト画面のままで電源を切ると変更した内容が登録されません。

自宅を地図に登録しておく

自宅を登録しておくことで、出発地や目的地の設定が簡単にできます。例えば目的地選択画面で「自宅呼出」を選ばると、自宅に帰るルートを探すことができます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「地図機能」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「自宅」を選び、決定ボタンを押す



登録/変更

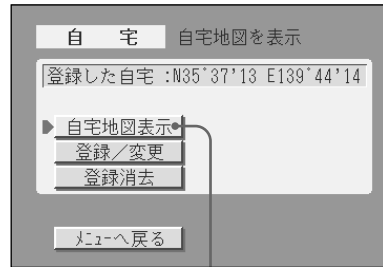
- 4 「登録/変更」を選び、決定ボタンを押す
地図画面になります。
- 5 カーソルボタンで+マークを自宅に合わせ、決定ボタンを押す
+マークが自宅マークに変わり、自宅が設定されます。そのあと、自宅が新たに設定された「自宅」画面に戻ります。



- 6 「メニューへ戻る」を選び、決定ボタンを押す

自宅地図を表示する

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「地図機能」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「自宅」を選び、決定ボタンを押す

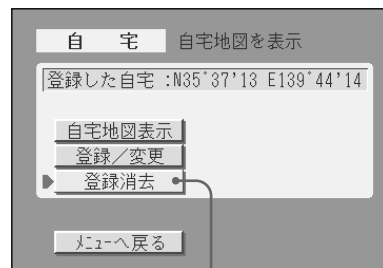


自宅地図表示

- 4 「自宅地図表示」を選び、決定ボタンを押す
自宅付近の地図画面になります。

登録した自宅を消す

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「地図機能」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「自宅」を選び、決定ボタンを押す



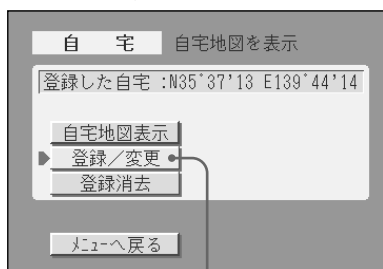
登録消去

- 4 「登録消去」を選び、決定ボタンを押す
登録した自宅が未設定に戻ります。

緯度経度から場所を探す

登録した自宅を変更する

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「地図機能」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「自宅」を選び、決定ボタンを押す



登録/変更

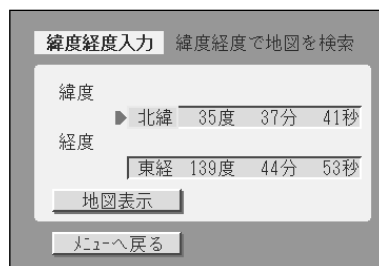
- 4 「登録/変更」を選び、決定ボタンを押す
地図画面になります。
- 5 カーソルボタンで+マークを自宅に合わせ、決定ボタンを押す
+マークが自宅マークに変わり、自宅が新たに設定されます。そのあと、自宅が変更された「自宅」画面に戻ります。
- 6 「メニューへ戻る」を選び、決定ボタンを押す

緯度経度を入力すると、その位置を中心とした地図を表示することができます。

例えば、本機を取り付けている何台かの車でドライブするとき、目的地などの緯度/経度を教え合うことにより、お互い共通の場所に目的地を設定することができます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「地図機能」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「緯度経度入力」を選び、決定ボタンを押す

「緯度経度入力」画面になります。



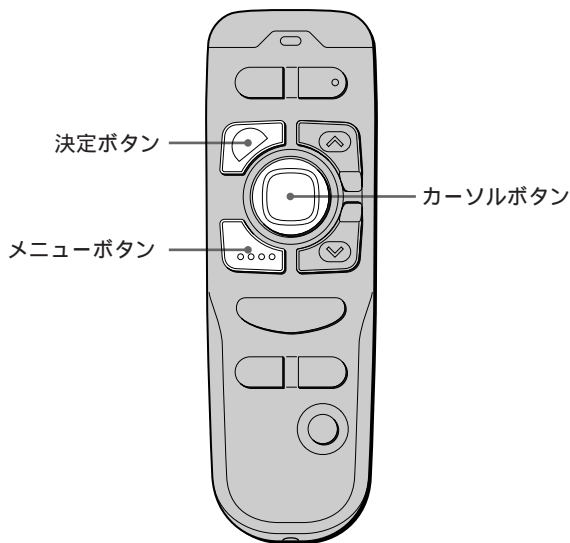
- 4 「緯度」または「経度」の設定したい項目を選び、決定ボタンを押す
数値が入力できる状態になります。
- 5 カーソルボタンを上下に押して数値を設定し、決定ボタンを押す
- 6 「地図表示」を選び、決定ボタンを押す
入力した場所の地図が表示されます。

ルート設定時は

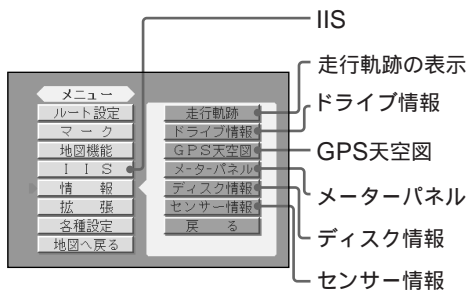
設定方法を選択する画面で「緯度経度入力」を選び、同様に操作します。

いろいろな情報を見る

メニューボタンを押して「情報」メニューを選ぶと、ドライブ中に近くの施設の情報を見たり、現在地の詳しいデータを知ることができます。



ドライブ中にいろいろな情報を見る操作は、「IIS」と「情報」メニューにまとめられています。



いろいろな情報を見る

地図ディスクに収録されている情報 (IIS)

IIS (Integrated Information Services) とはナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいた情報提供プログラムのことです。これから向かう場所の情報や、地図ディスクに入っている情報提供のプログラムを見ることができます。詳しくは「用語集」(58ページ)をご覧ください。

- 1** メニューボタンを押す
メインメニュー画面になります。
- 2** 「IIS」を選び、決定ボタンを押す
お使いになっている地図ディスクの取扱説明書をご覧のうえ、操作してください。
- 3** IISを終了するには、現在地ボタンを押す

いろいろな情報を見る

走行軌跡を表示する

走行軌跡とは、自車がそれまでに走ってきた道につく点のことです。

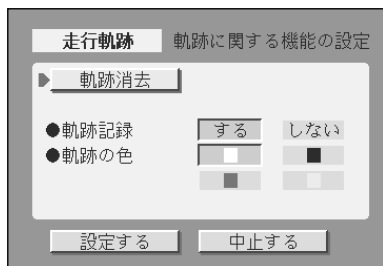


走行軌跡

走行軌跡を消す

画面上に表示されている軌跡をすべて消去できます。また、走行軌跡の記録をしないで、画面上に軌跡を表示しない設定も可能です。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「情報」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「走行軌跡」を選び、決定ボタンを押す
「走行軌跡」画面になります。



- 4 • 画面上の走行軌跡を消すとき
「軌跡消去」を選び、決定ボタンを押す。

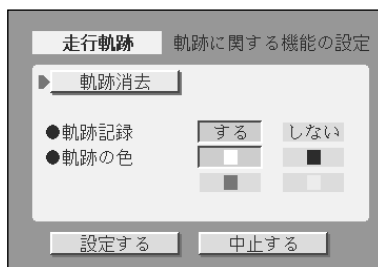
• 走行軌跡を表示しないとき
軌跡記録の「しない」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 「設定する」を選び、決定ボタンを押す
地図画面に戻ります。
設定を取り消すには、「中止する」を選んで決定ボタンを押します。

ちょっと一言

走行軌跡の表示は1000ポイントまで記録されます。1000ポイントを超えると1ポイント目の軌跡から順に消えていきます。また、地図の縮尺に合わせて見やすい間隔で軌跡を表示するので、広域な地図では軌跡の数は少なくなります。

走行軌跡の色を変える

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「情報」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「走行軌跡」を選び、決定ボタンを押す
「走行軌跡」画面になります。



- 4 軌跡の色(白、黒、赤、黄)のいずれかを選び、決定ボタンを押す
- 5 「設定する」を選び、決定ボタンを押す
地図画面に戻ります。
設定を取り消すには、「中止する」を選んで決定ボタンを押します。

ドライブ情報 (施設や観光情報など) を表示する

ドライブ中に周辺の施設などの情報を知りたいときは、以下の操作を行ってください。地図上でドライブ情報のシンボルが表示されているときは、そのシンボルが示す情報を見ることができます。

1 シンボルに+マークを合わせる

表示する情報を選ぶ画面になります。



ドライブ情報がある場所には、シンボルが表示されています。

2 ④のマークに変わったら、決定ボタンを押す

ドライブ情報、またはIIS (情報提供プログラム) の画面になります。

地図画面に戻るには
現在地ボタンを押します。

ドライブ情報の文章が途中までしか表示されていないとき

カーソルボタンを上下に押すと、情報の続きを見ることができます。

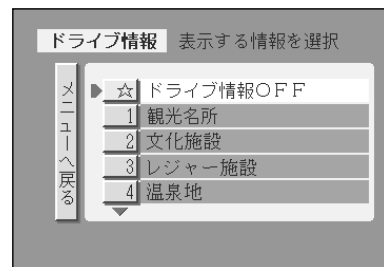
地図画面に表示するドライブ情報を設定するには

1 メニューボタンを押す

2 「情報」を選び、決定ボタンを押す

3 「ドライブ情報」を選び、決定ボタンを押す

表示する情報を選ぶ画面になります。



「メニューへ戻る」を選んで決定ボタンを押すと、メニューに戻ります。

4 表示したい情報を選び、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

表示しない場合は、「ドライブ情報OFF」を選び、決定ボタンを押してください。

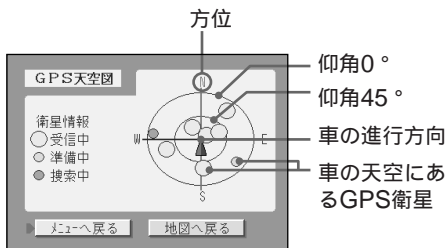
ご注意

- 地図ディスクによっては、ドライブ情報が収録されていないものもあります。
- シンボル表示やその内容は、地図ディスクによって異なります。
- ドライブ情報がない縮尺の地図もあります。お使いになる地図ディスクによって異なりますが、通常は詳細な地図にドライブ情報が収録されています。
- ドライブ情報がない地域もあります。

GPS衛星の受信状態を見る

ドライブ中に現在地が表示されないときや自車マークが黒色のときなどに、以下の操作でGPS衛星の受信状態を確認してください。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「情報」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「GPS天空図」を選び、決定ボタンを押す



GPS衛星は次の3段階で表示されます。

受信中：現在、電波を受信中のGPS衛星

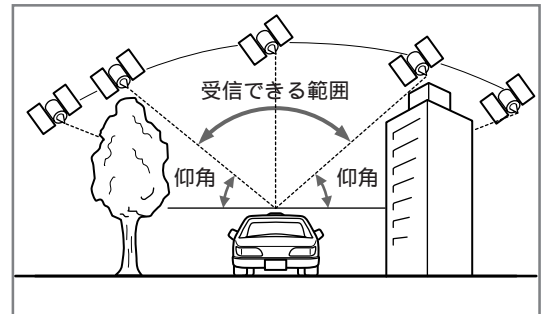
準備中：測位を計算するための準備段階にあるGPS衛星

搜索中：障害物などで電波を受信できないGPS衛星

自車マークから離れて表示されているGPS衛星ほど、障害物の影響を受けやすくなります。

- 4 「メニューへ戻る」または「地図へ戻る」を選び、決定ボタンを押す

GPS衛星が地平線近くに位置しているときGPS衛星は周回衛星なので、本機のGPSアンテナから見て水平に近い角度(低仰角)に位置することがあります。このようなときは特に障害物の影響を受けやすく、電波を正常に受信できなくなります。

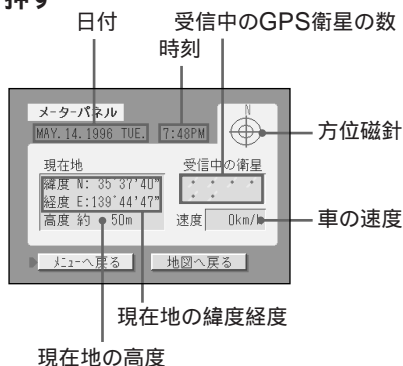


ご注意

一部のウィンドウガラスには、GPS衛星の電波を通さないものがあります。GPSアンテナを車内に取り付けて受信状態が不安定なときは、一度アンテナを車外に取り付けて受信してみてください。

車の速度などの情報を見る

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「情報」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「メーターパネル」を選び、決定ボタンを押す



- 4 「メニューへ戻る」または「地図へ戻る」を選び、決定ボタンを押す

ご注意

現在地の高度はおおよその値です。

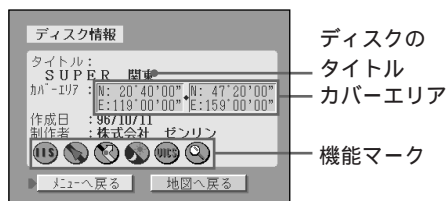


ジャンクションガイド対応：
ジャンクションガイド機能に対応したディスクです。詳しくは、「道案内の流れ」(11ページ)をご覧ください。

地図ディスクの種類などを見る

お使いになっている地図ディスクのカバーエリア(収録されている地図の範囲)やディスクのタイトルなどを見ることができます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「情報」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「ディスク情報」を選び、決定ボタンを押す



- 4 「メニューへ戻る」または「地図へ戻る」を選び、決定ボタンを押す

ディスクの機能マークについて



自動経路探索対応：
自動ルート探索が可能です。



「詳細地図」対応：
「詳細地図」対応の市販のナビ研S規格の地図ディスクを使用時に表示されます。詳しくは、「使用できる地図ディスクについて」(48ページ)をご覧ください。



マップマッチング対応：
マップマッチング機能が働きます。詳しくは、「自律航法機能の動作を確認する」(38ページ)および「用語集」(58ページ)をご覧ください。



IIS情報対応：
IIS情報(33ページ)が収録されています。



VICS対応：
VICSのレベル3の情報が表示できます。VICS対応FM多重ユニットNVA-VF1を接続したとき表示されます。(NVX-D77は別売り)



地図カラー自動切り換え対応：
地図カラー自動切り換え機能に対応したディスクです。詳しくは、「システムの設定」(41ページ)をご覧ください。

自律航法機能の動作を確認する

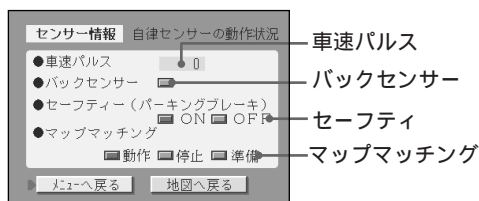
内蔵の自律センサーが正しく動作していることを確認するには、センサー情報画面で次の操作を行ってください。

ご注意

運転者が自律センサーの動作確認を行うことは危険です。必ず助手席の同乗者に行ってもらってください。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「情報」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「センサー情報」を選び、決定ボタンを押す

画面の確認は、必ず助手席の同乗者に行ってもらってください。



車速パルス：この画面を表示した状態で車を安全な場所でゆっくり走らせて、数字が変化することを確認してください。車の速度を上げると、数字が大きくなります。

バックセンサー：シフトレバーがリバースの位置にあるときに、ランプが赤く点灯することを確認してください。

セーフティ：パーキングブレーキを引いて車が停車している状態でON側のランプが赤く点灯していることを確認してください。

マップマッチング：マップマッチングが動作しているときは「動作」ランプが赤く点灯します。また、初めて本機を取り付けたときや別の車に付け替えたときなどは、しばらく「準備」ランプが点灯します。準備が終了すると、「動作」ランプが点灯しますが、つぎのようときは、「停止」ランプが赤く点灯します。

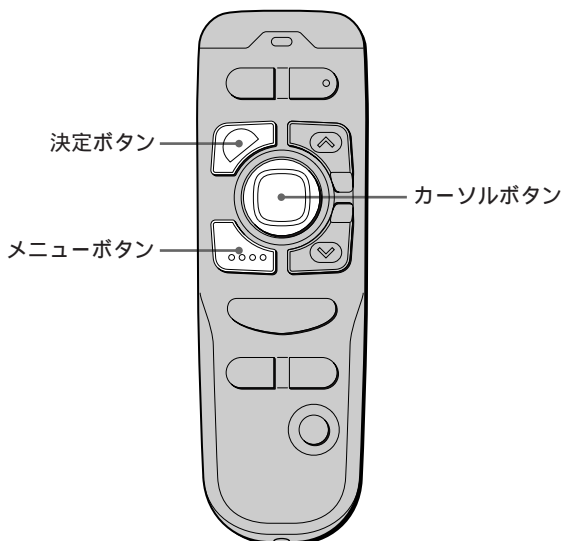
- 地図ディスク上にマップマッチング情報のないエリアを走行しているとき
- 準備が終了した後に車速センサーコードがはずれてしまったとき

ご注意

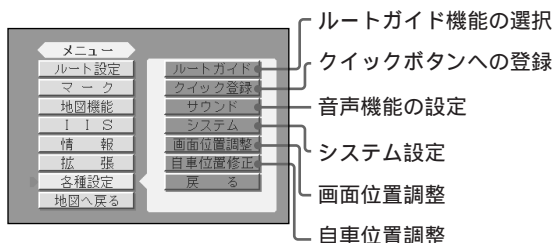
- 確認のためのランプが点灯するまで数秒間かかる場合があります。
- マップマッチングの「準備」ランプが点灯しているときは、ルートガイドの音声案内や交差点拡大図の表示などを正しく行うことができません。走行中の交差点名や道路名は表示しません。また、「詳細地図」を表示したとき、自車位置を正しく表示しません。
- 音楽CDを再生して走行した後に地図ディスクを入れると、自車がずれて表示されますが、故障ではありません。しばらく走行すると、正しい自車位置に戻ります。

設定と調整

メニューボタンを押して「各種設定」メニューを選ぶと、本機の表示や音声などの内容をお買い上げ時の設定から変更することができます。



本機の各機能のON/OFFや設定操作は、「各種設定」メニューにまとめられています。



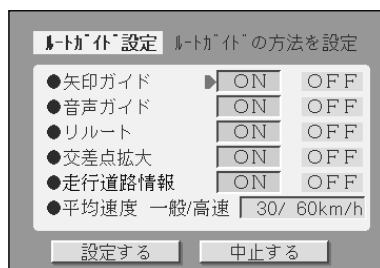
ご注意

車速センサーコードなどの接続が正しく行われていないと交差点拡大表示や音声ガイド、リルートなどが正しく働きません。また、走行中の交差点名や道路名などは表示されません。

ルートガイドの設定

ルートガイド時の働きを設定します。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「各種設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「ルートガイド」を選び、決定ボタンを押す



矢印ガイド：ガイドポイント(交差点)での進行方向を示す矢印のON/OFF

音声ガイド：音声ガイドのON/OFF

リルート：ルートを外れたときにルートに戻るガイドを行う機能のON/OFF

交差点拡大：交差点にさしかかったときの交差点拡大画面を表示する機能のON/OFF

走行道路情報：直前の交差点などの情報を表示する機能のON/OFF

平均速度：目的地到着の時刻を自動的に計算するための設定。「一般」または「高速」を選択し、カーソルボタンで「5」km/h単位で変更することができます。ルートガイド中に目的地ボタンを押すと、画面上に表示します。

- 4 必要な項目を選び、決定ボタンを押す
- 5 「設定する」を選び、決定ボタンを押す

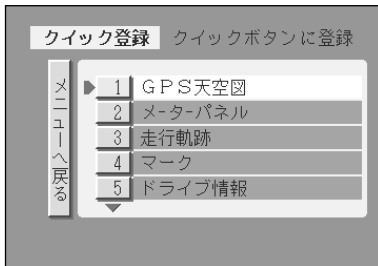
地図画面に戻ります。

設定を取り消すには、「中止する」を選んで決定ボタンを押します。

よく使う機能をクイックボタンに割り当てる

よく使うメニュー項目をクイックボタンに登録すると、メニューから選ぶ操作を省略できます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「各種設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「クイック登録」を選び、決定ボタンを押す
- 4 登録する機能を選び、決定ボタンを押す

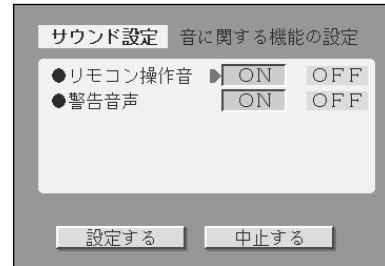


設定を中止するには、「メニューへ戻る」を選んで決定ボタンを押します。

音声の設定

操作時やルートガイド中の音声の働きを設定します。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「各種設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「サウンド」を選び、決定ボタンを押す



リモコン操作音：ボタン操作時の確認音のON/OFF

警告音声：さまざまな警告音声のON/OFF

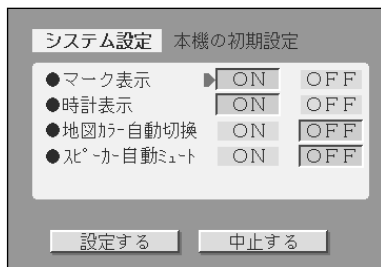
- 4 必要な項目を選び、決定ボタンを押す
- 5 「設定する」を選び、決定ボタンを押す
地図画面に戻ります。

設定を取り消すには、「中止する」を選んで、決定ボタンを押します。

システムの設定

本機のシステム上の初期設定を変更できます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「各種設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「システム」を選び、決定ボタンを押す



マーク表示：地図上のマーク表示のON/OFF

時計表示：画面の時計表示のON/OFF

地図カラー自動切替*：地図の夜/昼モード自動切り換えのON/OFF

スピーカー自動ミュート：カーステレオで音楽CDを聞くとときにONにしてください。音楽CDを聞いているときは、モニターからの音声を自動的にミュート（消音）します。

- 4 必要な項目を選び、決定ボタンを押す
- 5 「設定する」を選び、決定ボタンを押す

地図画面に戻ります。

設定を取り消すには、「中止する」を選んで決定ボタンを押します。

* 地図カラーについて

地図のカラーは、日付、時刻、緯度経度などの条件により、大まかな夜/昼を本機が判断して切り換えます。

地図カラー自動切り換え機能は、機能に対応したディスクをお使いになった場合のみ働きます。機能に対応していない地図ディスクをお使いの場合には、設定が「ON」でも地図カラーは切り換わりません。この場合、地図カラーは昼モードに固定されます。

ご注意

夜間に「地図カラー自動切替」をONに設定しなおしたときや、地図ディスクを入れ換えた場合、地図カラーが切り換わるまでしばらく時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

画面の位置を微調整する

この機能は、画面の中心位置のずれを調整するためのものです。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「各種設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「画面位置調整」を選び、決定ボタンを押す
- 4 カーソルボタンを上下左右に押して+位置を画面の中央に合わせ、決定ボタンを押す
地図画面に戻ります。

メニュー画面に戻るにはメニューボタンを押します。

自転車位置を修正する

フェリーなどで移動したあとに本機を使用すると、GPS衛星からの電波を受信するまで、自転車マークが現在位置と一致しないことがあります。このような場合は、自転車位置修正を行うことをおすすめします。

また実際に走行している道から、自転車マークが大きくはずれて表示された場合や、本機の電源を切って走行したあと再び電源を入れた場合にも、自転車位置を修正することをおすすめします。

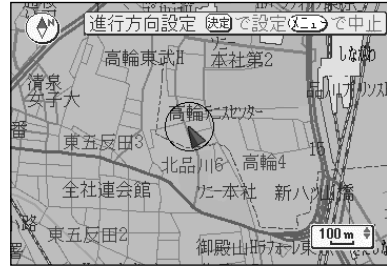
ご注意

以下の操作は走行中に行うことはできません。必ず安全な場所に車を停車させてから、操作してください。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「各種設定」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「自転車位置修正」を選び、決定ボタンを押す
自転車位置修正画面になります。



- 4 カーソルボタンで+マークを正しい自転車位置に合わせ、決定ボタンを押す
自転車マークは色が変わり、+マークの位置に表示されます。



- 5 カーソルボタンを左右に押し、自転車マークの向きを進行方向に合わせ、決定ボタンを押す
地図画面に戻ります。

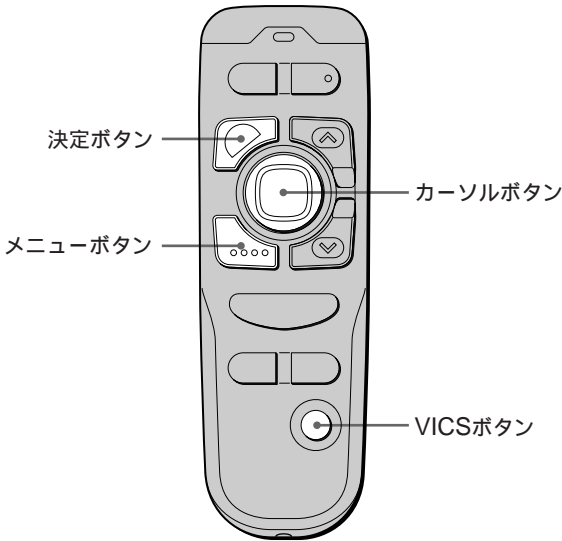
自転車位置の修正を中止するには
現在地ボタンを押します。

拡張機能

本機には、以下のような拡張ユニットを接続することができます。

- VICS対応FM多重ユニットNVA-VF1
(NVX-D77 : 別売り / NVX-FV7 : 付属)
- VICS対応ビーコンユニットNVA-VB1 (別売り)
- 音声認識ユニットNVA-VR1 (別売り)
- FM文字多重放送受信ユニットNVA-FM1
(別売り : NVX-D77のみ接続可能)

なお、上記の拡張ユニットに対応したプログラムは、すでに本機に組み込まれていますので、バージョンアップディスクを付属している場合でも、プログラムを変更する必要はありません。



ちょっと一言

拡張ユニットの接続は起動時の画面でも確認できます。拡張ユニットが接続されていると以下のようなマークが表示されます。

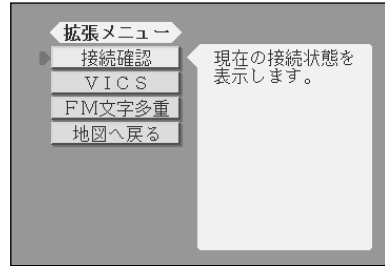


VICS対応FM多重ユニット接続中 音声認識ユニット接続中 FM文字多重ユニット接続中

拡張ユニットを使う

拡張ユニットの操作は拡張メニューで行います。VICSユニットNVA-VF1やNVA-VB1は、リモコンのVICSボタンでも操作することができます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「拡張」を選び、決定ボタンを押す

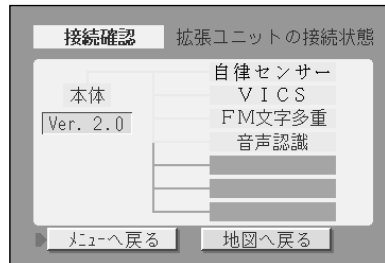


- 3 カーソルボタンで操作する拡張ユニット名を選び、決定ボタンを押す
それぞれの取扱説明書をご覧のうえ、操作してください。

拡張ユニットの接続を確認する

現在接続されている拡張ユニットを確認することができます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 「拡張」を選び、決定ボタンを押す
- 3 「接続確認」を選び、決定ボタンを押す



拡張機能

テレビを見る

NVX-FV7に付属しているモニターでテレビを見ることができます。また、音声はモニターに内蔵のスピーカーで聞くことができます。詳しくは、付属のXTL-610用の取扱説明書をご覧ください。NVX-D77に別売りのモバイルカラーテレビXTL-510/610を接続すると、同様にテレビを見たり、モニターに内蔵のスピーカーで音声を聞くことができます。

安全運転のために

- テレビ画面は、パーキングブレーキを引いて車が停車中ではないと見ることはできません。パーキングブレーキを戻すと、安全のために下のような画面を約5秒間表示した後、自動的にテレビ画面を消し、音声のみとなります。

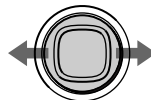


- テレビ放送などを見るときは、安全な場所に停車してご覧ください。

1 モニターのTV/VIDEOボタンを押す
テレビ画面になります。

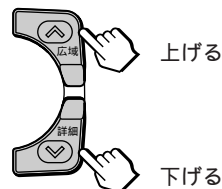
2 チャンネルを選ぶ

自動選局



受信できるチャンネルを自動的に探しながら選局します。

3 音量を調節する



調節のしかた

画面を見ながら、リモコンでボリュームをセンター付近に調節したあとモニターのVOLコントロールを調節して、適度な音量になるようにしてお使いください。

ズームボタンで音量を上げて、音量が大きくなるときは、モニターのVOLコントロールで音量を上げてください。

その他の操作は

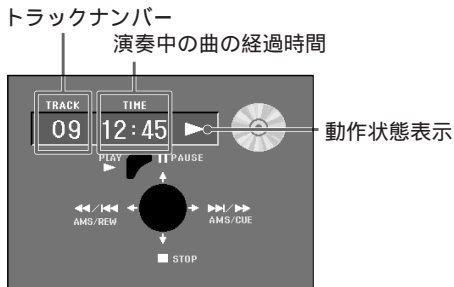
XTL-610に付属のリモコンで行うことができます。詳しくは、XTL-610用の取扱説明書をご覧ください。

音楽CDを聞く

地図ディスクの代わりに音楽CDを入れて、本機をCDプレーヤーとして使用できます。(8cmシングルCDを演奏することはできません。)

1 音楽CDを入れる

演奏が始まります。



演奏中の操作

ボタン	表示	動作
決定	▶	演奏を開始する
↑		一時停止する
↓	■	停止する
→	▶▶ ▶▶	次の曲の先頭に飛ぶ 2秒以上押し続けると早送りする
←	◀◀ ◀◀	演奏中の曲の先頭に飛ぶ 2秒以上押し続けると早戻しする

ご注意

- CD演奏中は、ナビゲーション機能は働きません。
- レンタルCDなどで使用されていた音楽CDを演奏する場合、ラベルなどが貼られていたときは、はがしたあとの接着剤まできれいに拭き取ってください。残っていると故障の原因となることがあります。
- CD演奏中、地図ディスクに戻した場合、自車がずれて表示されることがありますが、故障ではありません。しばらく走行すると正しい自車位置に戻ります。

誤差について

GPS衛星自体による誤差

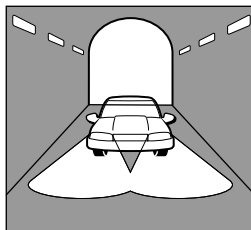
本機では、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位しますが、場合によっては約200メートルの誤差を生じることがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測位精度が変更され、誤差が大きくなることもあります。このような場合は、実際に走行している道と地図上での自転車マークの位置が完全には一致しなくなり、実際に走行している道とは異なる道路に自転車マークが表示されることもあります。

* GPS衛星について、詳しくは「道案内の概要」(6ページ)と「用語集」(58ページ)をご覧ください。

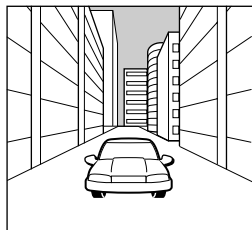
衛星からの電波が受信できないとき

GPS衛星からの電波がとどかないトンネルの中や地下、電波をさえぎる高い建物や樹木などの障害物がある場合では、実際の車の位置と自転車マークがずれることがあります。

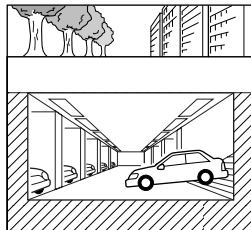
トンネルの中



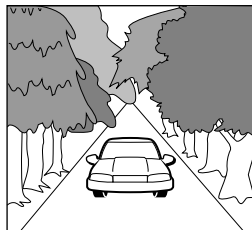
高層ビルの間



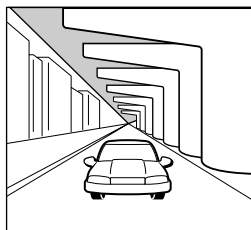
地下



密集した樹木の間



高架の下



誤差が大きくなるとき

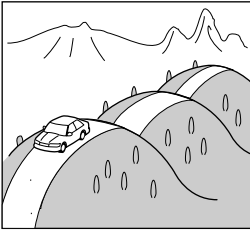
衛星からの電波が受信できないときでも、本機は自律航法とマップマッチングによって、誤差を小さく抑えることができます。

ただし、次のような状況では自律航法やマップマッチングが正しく働かず、誤差が大きくなることがあります。

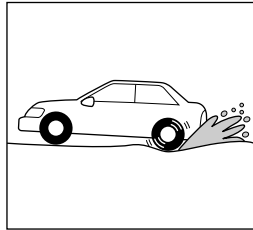
*「自律航法」「マップマッチング」については、詳しくは「用語集」(58ページ)をご覧ください。

走行状態が正しく測定できない

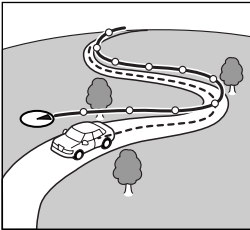
勾配の急な山道



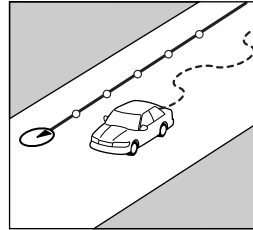
雪道や砂利道でのスリップ



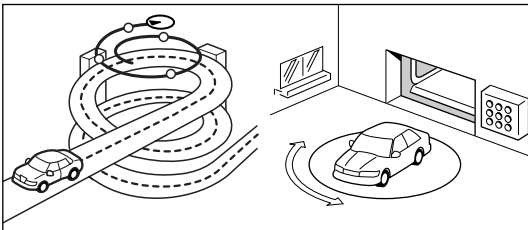
ヘアピンカーブ



蛇行運転

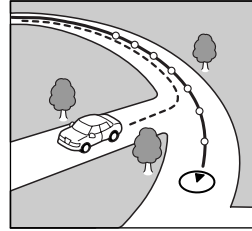


ループ橋やターンテーブルでの旋回

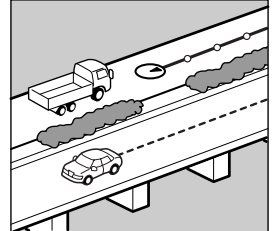


マップマッチングで自車マークが他の道路になってしまう

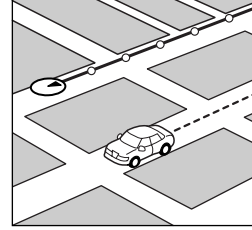
角度の小さなY字路



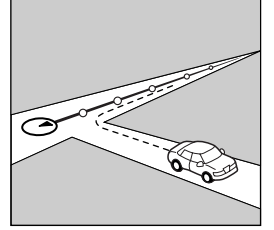
上り下り二車線の場合



並行している道がある

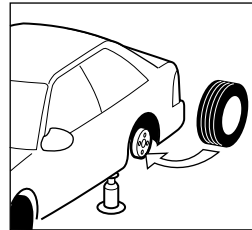


長い直線や緩やかなカーブが続いた直後



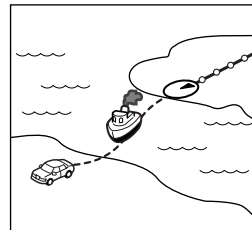
その他

タイヤやチェーンの交換後

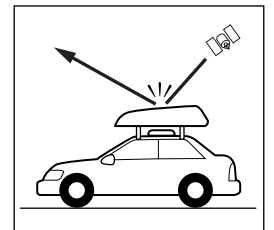


電源を切って走行したあとに電源を入れたとき

フェリーなどで移動したあと



GPSアンテナがルーフキャリアの下に設置してあるとき



音楽CDを演奏してから、地図ディスクを入れたとき

その他

使用できる地図ディスクについて

誤差を小さくするために

30分間の走行を!

初めて本機を取り付けたときや、別の車に本機を付け換えたときなどに、しばらくのあいだ現在位置表示の誤差が大きくなることがあります。これは、車種によって異なる車速パルスの種類を自動的に算定したり、タイヤ径などによって生じる車速パルスの誤差を補正したりといった計算を行っているため、故障ではありません。

正常に動作するまでのあいだ、約30分間、GPS衛星からの電波を受信した状態で走行してください。

リセットボタンを押したあとや、自車マークが黒の状態でも電源を切って再び電源を入れたあとなども同様に操作してください。

5秒間の停車を!

車のキーをON位置にしてすぐに車を発進させると、自車マークが実際の走行方向と違う方向に進むことがあります。この場合、しばらく走行すると正しい位置に表示されますが、測位の精度を上げるためには、約5秒間停車することをおすすめします。

本機はナビ研S規格専用です。本機で使用する地図ディスクは、必ずナビゲーションシステム研究会統一S規格のシンボルマーク(ナビ研S規格)マークがついている地図ディスクをお使いください。

ナビ研S規格のマークのついている地図ディスクは、ナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいて作成、販売されている地図ディスクです。このマークがついている地図ディスクは、その製造メーカーにかかわらず本機で使用できます。

推奨ディスク

ゼンリン ナビソフトドライブマップ2 Super関東版
その他の地域版シリーズ



ナビゲーションシステム研究会統一S規格マーク

“詳細地図”について

ナビ研S規格の地図ディスクは、従来よりもさらに詳細な縮尺(25~50m)の“詳細地図”に対応しているものがあります。



地図ディスクについて詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。

ご注意

本書で使用している地図画面は説明用のものです。また、地図画面の色や内容は、お使いになる地図ディスクにより異なりますので、ご了承ください。

メニューの種類について

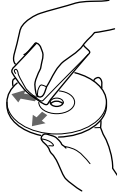
保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高い場所には置かないでください。

特に夏季、直射日光下で閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので、絶対に放置しないでください。

お手入れ

ご使用になる前に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。



ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆に地図ディスクを傷めることがありますので使用しないでください。

結露について

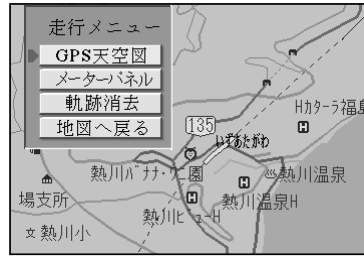
寒いときにヒーターをつけた直後など、地図ディスクプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)を生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、地図ディスクプレーヤーが動作しないことがあります。

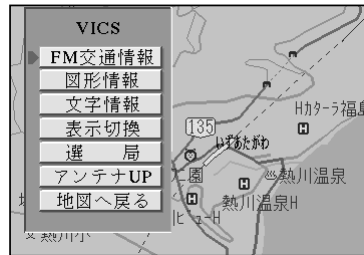
周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

安全のため、パーキングブレーキを引いて車が停車している状態でないと設定や登録などの複雑な操作はできません。

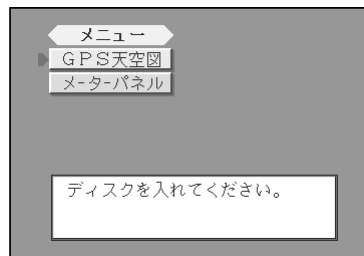
走行中にメニューボタンを押すと、「GPS天空図」など、走行中に操作できるメニューが表示されません。



また、VICSユニットNVA-VF1やNVA-VB1を接続しているときは、VICSボタンを押すと、VICSのメニュー操作ができます。(初期設定を除く)



地図ディスクを入れない状態でも、「GPS天空図」と「メーターパネル」だけを見るメニューが表示されます。



上記以外の機能を使うためには、地図ディスクが必要です。

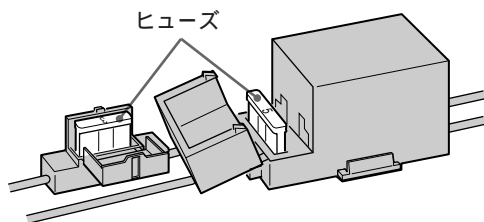
ご注意/お手入れ

プラスチック部品について

リモコンやモニターなどのプラスチック部品に、殺虫剤やヘアスプレー、ガラスクリーナーなどをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズの交換

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



GPSアンテナ

- GPSアンテナを取りはずすときに、アンテナコードを引っ張らないでください。
- 携帯電話などの強い電波を出す機器をGPSアンテナの近くに置かないでください。また、これらの機器を車の中で使用しないでください。

地図ディスクプレーヤー

水がかからないようにしてください。特に、水にぬれた靴や傘、ボディーカバー等の水滴が直接かからないようにご注意ください。

内蔵のリチウム電池について

地点、マークなどのメモリーは、本体内蔵のリチウム電池で保持しています。リチウム電池の寿命は使用状態で異なりますが、約4～5年です。リチウム電池の交換については、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

モニター

- 極端に低温または高温になるところに置かないでください。（キャビネットの変形や液晶パネルの故障の原因になります。）
- また、直射日光下の車内はかなりの高温になりますので、駐車中には別売りのモニターカバー（GM-62）などで覆うなどして、日光が直接当たらないようにしてください。
- 本体裏の通風孔をふさがないようにしてください。
- 雨や風にさらさないでください。（特にオープンカーに取り付けた場合はご注意ください。）
- 内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を入れないでください。そのままご使用になると火災や感電、故障、事故の原因になります。

XVM-G50、G60をご使用の場合

- リモコンの回転ボタンを2秒以上押すと、押す度に画面の明るさが2段階に変わります。（ディマー機能）
- モニターにVIDEO INジャック（AUX）がありますが、このビデオ入力をご使用になれません。
- TVチューナーユニットXT-50NVを接続して使用することはできません。

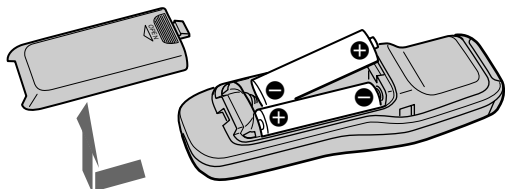
液晶パネル

- 液晶パネルの前面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- お手入れについては、次のことをご確認ください。
 - 液晶パネルについてホコリやゴミ、指紋などは柔らかい布でふきとってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませてふきとってください。
 - ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
 - 静電気防止剤なども、逆に液晶パネルを傷めることがありますので使用しないでください。
- 寒いところでご使用になる場合、内部照明（バックライト）が暗くなりますが、車内の温度が上がるとともに戻ります。
- 温度が - 10 以下または60 以上のところでは使用しないでください。
- かなりの低温または高温になると映りが悪くなることがありますが、故障ではありません。常温に戻ると回復します。
- モニター画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現れることがあります。このような現象を輝点といいます。液晶パネルの性質上発生するものです。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画面がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素がありますのであらかじめご了承ください。このナビゲーションシステムをお使いになる上で支障はありません。

リモコン

電池の入れかた

単3形乾電池2本(付属)を+と-を正しく入れる。



乾電池について

電池の交換時期

普通の使いかたで約6か月もちますが、カーソルボタンでスクロールの操作をひんぱんに行くと、電池の寿命は短くなります。電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。リモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

リモコンの操作ボタンを押したときにLEDが点滅しなくなった場合は、電池の寿命です。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

- 火の中に入れてはいけません。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
- 乾電池は充電しません。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠ 注意

- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

リモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏季の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに車を駐車するときは、リモコンを取り付け場所からはずし、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなる場合があります。このようなときは、モニターの受光部にリモコンを近づけて操作してください。

その他

レーダー探知機などを動作させると、その電波の影響により本機や本システムが正しく動作しないことがあります。

メッセージが出たら

内のページに、詳しい説明があります。

メッセージ	原因	処置
「あと××個のマークがつけられません。」	マーク用のメモリーが残り少ないときに、マークをつけた。	-
「安全のため、走行中は操作ができません。」	メニューを開いてから走行を始めた。	安全な場所に車を停車させてから、操作してください。
「温度保護回路がはたらきました。」	地図ディスクプレーヤーの温度が上昇した。	温度が下がるまで本機の電源を切ってお待ちください。
「現在地付近の地図がありません。」	お使いになっている地図ディスクに収録されていない地域に自車の現在地がある。	自車の現在地の収録されている地図ディスクをお使いください。
「この縮尺はありません。自動変更します。」	<ul style="list-style-type: none"> • お使いになっている地図ディスクに収録されていない縮尺の地図を選んだ。 • 地図が自動スクロールして、それまでの縮尺の地図がない地域になった。 	本機は自動的に地図の縮尺を変更し、広域な地図を選んで表示します。
「システムエラー リセットボタンを押してください。」	何らかの原因で、本機が動作できなくなった。	地図ディスクプレーヤーの▲ボタンまたはリセットボタンを押してください。
「指定された最寄りランドマークを表示することができません。」	メモリーが足りない。	一度電源を切るか、場所を変えてもう一度最寄り表示を行ってください。
「指定されたランドマークが周辺ありません。」	指定したランドマークが周辺にない。	カーソル位置を移動して改めて「最寄り表示」操作をしてください。②⑤
「設定した自宅の地図がありません。」	設定したときの地図ディスクと異なる地図ディスクを使用していて、そのディスクにマークをつけた地域が収録されていない。	設定されている自宅、経由地、目的地が収録されている地図ディスクをお使いください。
「探索計算結果がありません。」	自動ルート探索実行前に、ルート確認操作をした。	出発地、経由地、目的地設定後、自動ルート探索を行ってから「ルート確認」を選択してください。
「地点を設定した地域の地図がありません。」	<ul style="list-style-type: none"> • 緯度/経度が正しい数値で入力されていない。 • 入力された緯度/経度の地域が収録されていない地図ディスクを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 正しい数値を入力してください。②⑥ • 入力された緯度/経度の地域が収録されている地図ディスクをお使いください。
「ディスクを入れてください。」	地図ディスクプレーヤーにディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。⑨

メッセージ	原因	処置
「ディスクエラー」	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクを裏返しに入れたときや、ディスクが汚れている。 • 結露した。 	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクの表裏を確認して入れてください。汚れている場合は、別売りのクリーニングクロスなどでディスクをきれいにしてください。⁴⁹ • ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。⁴⁹
「ディスクフォーマットエラー」	ナビゲーションシステム研究会統一規格以外のディスクを入れた。	ナビゲーションシステム研究会統一規格のディスクをお使いください。
「ディスクを取り出して、リセットボタンを押してください。」	何らかの原因で、本機が動作できなくなった。	地図ディスクプレーヤーの▲ボタンまたはリセットボタンを押してください。
「マークをつけた地域の地図がありません。」	マークをつけたときの地図ディスクと異なる地図ディスクを使用していて、そのディスクにマークをつけた地域が収録されていない。	マークをつけた地域が収録されている地図ディスクをお使いください。
「マーク250個すべてつけました。」	地図にマークを250個つけた。	250個以上のマークはつけられません。
「これ以上マークをつけられません。マークをつけるには、不要なマークを消去してください。」	地図にマークが250個ついているときに、さらにマークをつけようとした。	不要なマークを消去してから、新しいマークをつけてください。 ²⁸
「ルートを設定してください。」	ルートが設定されていないときに、ルートガイド「開始」を選択した。	ルートを設定してください。 ¹⁵
「GPSデータエラー」	本機は、GPS衛星の軌道データを常に本体にメモリーしておくことで、測位スピードを速めているが、その軌道データのメモリーが何らかの原因で消えてしまい測位できない。	車のイグニッションスイッチをACCまたはON位置にしたときや、本機を動作したときに、このメッセージが何度も出る場合は修理が必要です。それ以外の場合には、見晴らしの良いところで本機を動作させて約20分ほどすると測位できません。

故障かな？と思ったら

のページに詳しい説明があります。

症状	原因および処置
現在地ボタンを押しても自転車の現在地を表示しない。	<ul style="list-style-type: none"> • 障害物の影響でGPS衛星の電波を受信できない。見晴らしの良い場所に移動してください。 • 受信可能なGPS衛星の数が少ない。メニューで「GPS天空図」を選び、受信可能なGPS衛星の数を調べてください。³⁸ • GPSアンテナの取り付け場所が悪い。なるべく車のボディによって電波をさえぎらない場所に、水平にアンテナを取り付けてください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。) • GPSアンテナと地図ディスクプレーヤーの接続不良。アンテナケーブルのコネクターを確実に(カチッと音がするまで)地図ディスクプレーヤーに接続してください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。)
経由地や目的地に近づいても、アラーム音が鳴らない。	<ul style="list-style-type: none"> • 音声ガイドの設定が「OFF」になっている。設定を「ON」にしてください。 • 「ルートガイドの設定」をご覧ください。³⁹
経由地や目的地に近づいても、音声案内が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> • 音声ガイドの設定が「OFF」になっている。設定を「ON」にしてください。⁴⁰ • ご使用のモニターの音量が最小になっている。ご使用のモニターの音量調節で適当な音量にしてください。 • 「ルートガイドの設定」をご覧ください。³⁹ • 「道案内をさせる」をご覧ください。¹⁰
交差点拡大図が表示されない。	<p>ルートガイド設定の交差点拡大が「OFF」になっている。「ON」に設定してください。³⁹</p>
“詳細地図”が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • 地図ディスクに“詳細地図”のデータが入っていない。“詳細地図”の入っているナビ研S規格対応の地図ディスクをお求めください。 • ナビ研S規格以外の地図ディスクを使用している。“詳細地図”の入っているナビ研S規格対応の地図ディスクをお求めください。
推奨ルートが表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • ルート探索の結果がない。ルート探索を行ってください。¹⁵ • “詳細地図”を表示している。広域地図を表示してください。¹² • ルートガイドが「OFF」になっている。ルート設定で「開始する」を選択してください。²²
自転車の現在地表示が実際に走行中の道路と一致しない。	<ul style="list-style-type: none"> • GPS衛星からの電波の誤差が大きい。(GPS衛星からの電波は、最悪時で数百メートルの誤差があります。)⁴⁶ • 自動航法/マップマッチングの誤差が生じている。しばらく走行すると正しい測位をします。⁴⁵
マップマッチングが働かない。	<p>マップマッチングに対応した道路データが収録された地図ディスクを使用していない。マップマッチングに対応した地図ディスクを使用する。¹⁹</p>

症状	原因および処置
モニターに何も表示しない。	ご使用のモニターと地図ディスクプレーヤーの接続不良。モニターと地図ディスクプレーヤーを確実に接続してください。(別冊の「取り付けと接続」説明書をご覧ください。)
メインメニューが表示されない。	安全のため、走行中は走行メニューのみ表示されます。パーキングブレーキを引いて車が停車しているときのみ、メニューの複雑な操作ができるようになっています。
リモコンのボタンを押しても反応しない。	<ul style="list-style-type: none"> • リモコンの信号がリモコン受光部に届いていない。リモコンの発光部をリモコン受光部に向けて操作してください。 • リモコンの乾電池が消耗している。乾電池を交換してください。❶
IISなどの音声がでない。	モニターの音量が最小になっている。ご使用のモニターの音量調節で適切な音量にしてください。
音楽CDの音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • モニターの音量が最小になっている。ご使用のモニターの音量を調整してください。 • システム設定のスピーカー自動ミュートが「ON」になっている。「OFF」に設定してください。❷
決定ボタンを押しても地名の音声ガイドを行わない。	「詳細地図」や広域地図には、音声ガイド用のデータが格納されていません。付属の地図ディスクの場合、50mおよび100mのスケールでご使用ください。
本機が動作しない。	地図ディスクプレーヤーのリセットボタンを押してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

主な仕様

本体(地図ディスクプレーヤー部、GPSレシーバー部、グラフィックコントロール部)

動作温度 - 10 ~ + 50

電源 DC12Vカーバッテリー
(マイナスアース)

消費電流 約1A

GPSレシーバー

受信周波数 1,575.42MHz(C/Aコード)

受信感度 - 130dBm

測位更新時間 約1秒

地図ディスクプレーヤー部

ナビゲーションシステム研究会統一フォーマット

入力端子 GPSアンテナ接続端子
ナビバス端子(1)

出力端子 オーディオ出力端子(ステレオ)
モニター接続端子

GPSアンテナ

動作温度範囲 - 30 ~ + 75

防水方式 防噴流仕様
マイクロストリップ平面アンテナ

自律航法ユニット(内蔵)

検出方式 圧電振動ジャイロ

外形寸法(幅×高さ×奥行き)

本体 約178×50×181mm
(突起部含まず)

リモコン 約40×28×128mm

GPSアンテナ 約55×15×65mm

モニター(NVX-FV7のみ)
約162×129×31mm

質量

本体 約1.5kg

リモコン 約100g(乾電池含む)

GPSアンテナ 約100g

モニター(NVX-FV7のみ)
約430g

付属品

リモコン(ワイヤレス)

GPSアンテナ

モバイルカラーTV XTL-610(NVX-FV7のみ)

VICS対応FM多重ユニット
NVA-VF1(NVX-FV7のみ)

地図ディスク(一式)

取り付け/接続部品(一式)

取扱説明書(一式)

ソニーご相談窓口のご案内(1)

保証書(1)

拡張ユニット(別売り)

音声認識ユニット NVA-VR1

FM文字多重放送受信ユニット
NVA-FM1(NVX-D77用)

VICS対応FM多重ユニット
NVA-VF1(NVX-D77用)

VICS対応ピーコンユニット NVA-VB1

別売り品

モバイルカラーTV(NVX-D77用)
XTL-610/XTL-510

FMトランスミッター XA-190RF
接続コード RC-117(拡張ユニット用)

モニター延長コード RC-116M

電源延長コード RC-119P(3m)

XTL接続コード RC-300(3m)(NVX-D77
のみ別売り)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

用語集

実際の操作などに関して、詳しくは 内のページをご覧ください。

自律航法について 38

GPS衛星からの電波が正しく受信できないとき、自律センサーの働きによって自車位置を検出し、地図画面上に表示する機能です。

正確な測位のためには、車速センサーおよびバックセンサーを正しく取り付けする必要があります。詳しくは「取り付けと接続」説明書をご覧ください。

マップマッチング

誤差によって実際に走行している道路からはずれて自車マークが表示される場合、そのずれを補正して必ず道路上に自車マークを表示させる機能です。

この機能は、使用する地図ディスクにマップマッチング用の道路データが存在するときのみ働きます。

GPS (Global Positioning System) 39

このシステムはGPS衛星(人工衛星)から地上に放射される位置測定用の電波を利用して、利用者の現在地(緯度・経度・高度)を知ることができるシステムです。地球の周り高度約21,000kmにはGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためのものですが、民間用にもその使用が開放されています。

時計表示 37

GPS衛星には原子時計が搭載されていて、正確な時刻信号電波を送信しています。本機動作中はこの時刻信号電波を受信しています。本機はこのデータをもとに正確な時刻を表示することができます。

測位 (Positioning) 36

3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機は、測位した自車の現在地を地図上に表示します。2個以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、現在地を測位できません。

軌跡 34

地図上で、自車がそれまでに走ってきた道につく印(点)です。本機では、現在地表示画面やナビゲーション画面で、最大1000ポイント(点表示)の軌跡を表示します。

(本機は地図の縮尺に合わせて、見やすい間隔で軌跡を表示するので、広域な地図では1000ポイントまで表示されません。)

IIS (Integrated Information Services) 33

ナビゲーションシステム研究会の共通規格に基づいた、ドライブ情報提供プログラムのことです。

IISのドライブ情報の内容は、お使いになる地図ディスクにより異なりますが、どの地図ディスクをお使いになっても、同じ操作でIISのドライブ情報を見ることができます。(IISが収録されていない地図ディスクもあります。詳しくは、地図ディスクのカタログや取扱説明書をご覧ください。)

合成音声

本機では「規則音声合成方式」によって音声を合成し、出力しています。

これは、ひらがな1文字にあたる短い音声信号を、言葉に合わせて順々につないでいく方法です。声の抑揚や話す速度も、その言葉に最も合うように自動的に作成し、音声を合成していきます。

従来のように録音した音声を再生する方式と違い、地図ディスクに収録されているほとんどの地名や交差点名を読み上げたり、目的地までの距離や現在の時刻を声でお知らせしたりすることができます。

VICS (Vehicle Information and Communication System)

VICSとは、最新の道路交通情報をドライバーにリアルタイムに提供する官民学共同の道路交通情報通信システムです。VICSセンターの提供する情報を受信するには、別売りのVICS対応FM多重ユニットNVA-VF1およびVICSビーコンユニットNVA-VB1を接続する必要があります。

索引

五十音順

ア行

音声

ガイド	19
警告音声	40
設定	40
リモコン操作音	40

カ行

ガイド

音声ガイド	19
シンプルガイド	23
矢印ガイド	18、39
ルートガイド	6、10、15

拡張ユニット

消す

音声	39
自宅	31
走行軌跡	34
マーク	28

経由地

修正	20
設定	16
保存	21
呼び出す	22

現在地を知る

交差点

音声ガイド	19
拡大表示	11

高度

サ行

探す

緯度経度から	32
--------	----

現在地	8
地名などで	27
目的地	26
最寄りポイント	26
ルート	10、15

自宅

消す	31
登録	31
表示	31

自転車

位置	8
位置修正	42
マーク	8

修正する

経由地	20
出発地	20
地点	20
目的地	20
ルート	20

自律航法

出発地

修正	20
設定	15
保存	21
呼び出す	22

詳細地図

設定する

音声	40
経由地	16
出発地	15
地点	15
目的地	12、16

選局

自動選局	44
------	----

走行軌跡

色を変える	34
消す	34
表示する	34

タ行

地図画面

拡大/縮小	12
微調整	41

地図カラー自動切り換え

地図ディスク

入れる	9
お手入れ	49
経路探索データ	
について	17
使用できる	
地図ディスク	48
種類などを見る	37
情報を見る	33

地点

修正	20
設定	15
保存	21
呼び出す	22

到着予想時刻表示

ハ行

表示

時計	41
マーク	41

保存する

経由地	21
出発地	21
地点	21
目的地	21
ルート	21

マ行

マーク

消す	28
シンボルを変更する	29
つける	28
表示	41
呼び出す	29

道案内
 概要 6
 帰り道の道案内 24
 道案内をさせる 10
 直線距離・方向だけの
 道案内 23

見る
 現在地 8
 車の速度など 37
 自宅 31
 地図ディスクの種類
 など 37
 ドライブ情報 35
 マーク位置 28
 ルート 22
 GPS衛星の受信状態 ... 36

メニュー
 選びかた 14
 種類 49
 サブメニュー 14

目的地
 探す 26
 修正 20
 設定 12、16
 保存 21
 マーク 12
 呼び出す 22

ラ行

リモコン
 クイックボタンへの
 割り付け 40
 ボタンの説明 裏表紙
 リルート機能 18

ルート
 探す 12、15
 探し直す 20
 修正 20
 新規作成 15
 探索条件変更 13、17
 ひと通り見てみる 22
 外れたとき 11、18
 保存 21
 呼び出す 22
 リルート機能 18
 ルートについて 17

ルートガイド
 概要 6
 ルートガイドをさせる . 10
 便利な機能 18
 設定 39

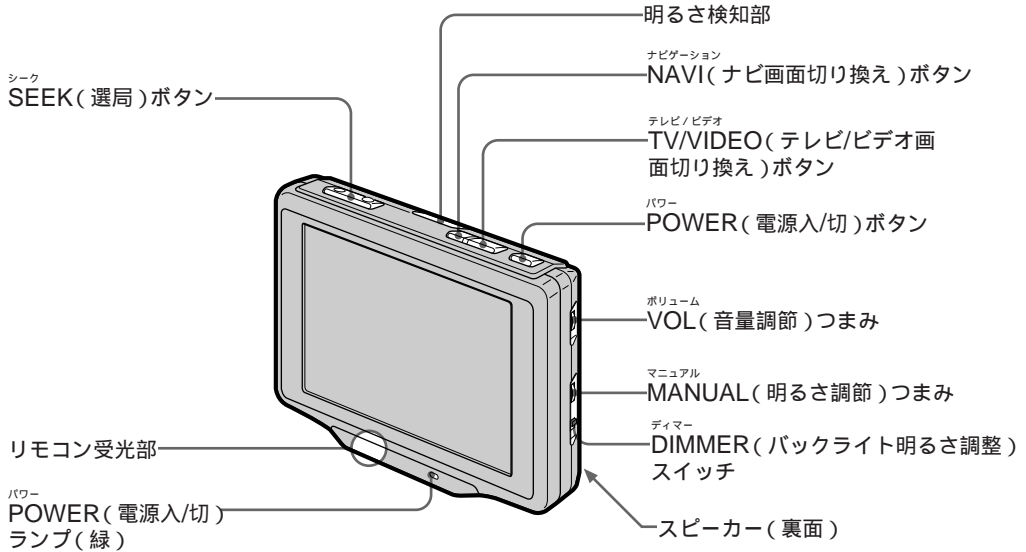
アルファベット

GPS衛星 36
 IIS検索 33
 VICSユニット 43

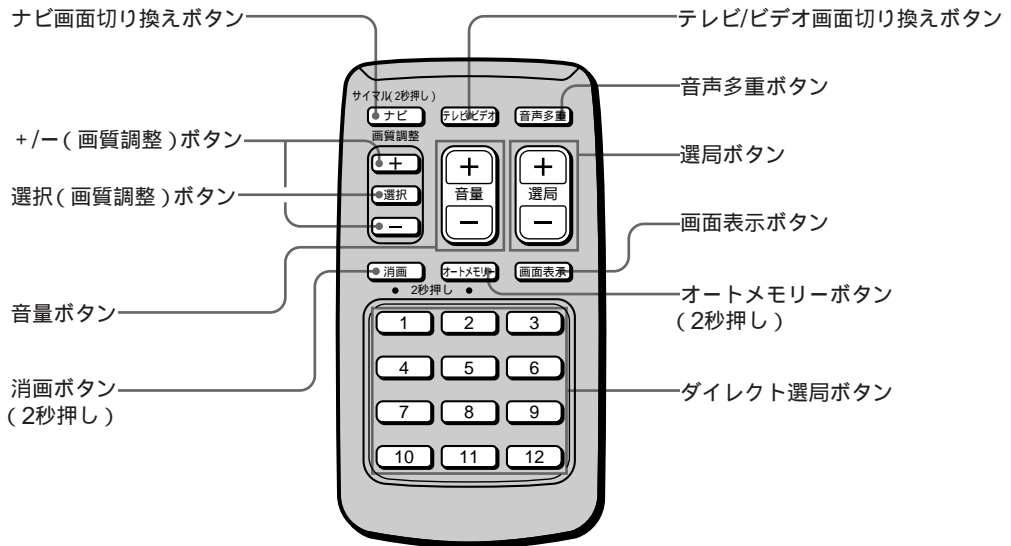
モニター：各部の働き（NVX-FV7のみ付属）

詳しくは、別冊のモニターの取扱説明書をご覧ください。

モニター



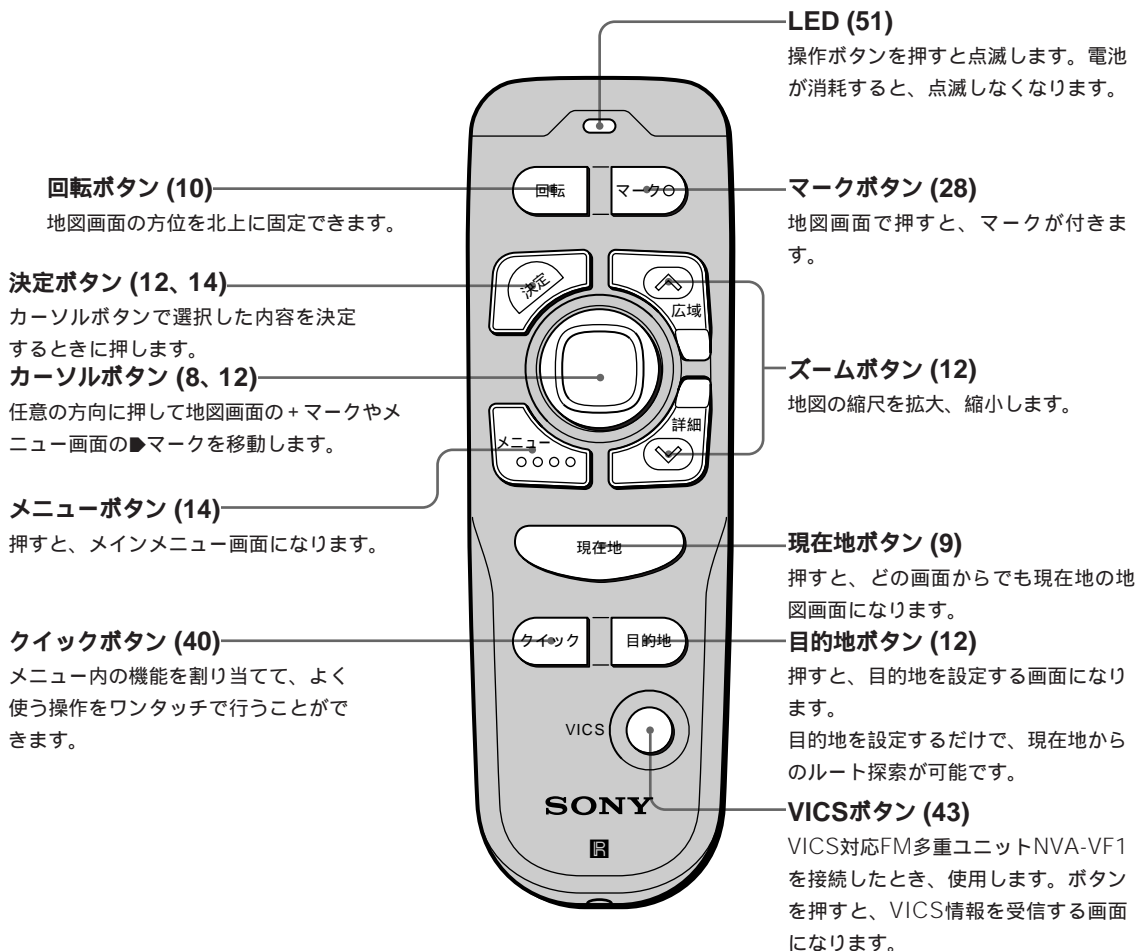
リモコン



各ボタンの使いかた

リモコン

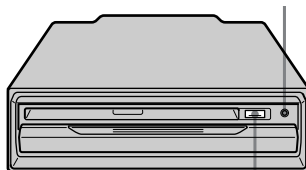
詳しくは、() 内のページをご覧ください。



ディスクプレーヤー

リセットボタン

初めてお使いのときに、エンジンをかけてからボールペンの先などで押して、電源を入れます。



▲ボタン

地図ディスクを取り出します。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客さま相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111



* 1 - 3 - 8 6 0 - 3 8 7 - 0 2 * (1)